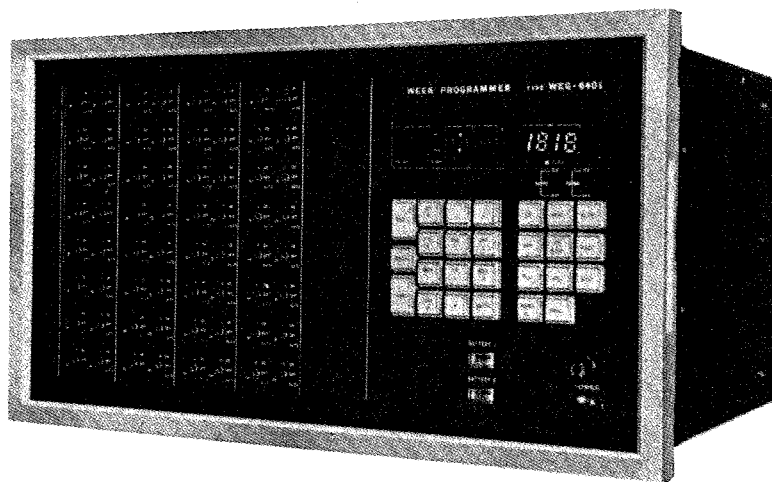


WEG-6401形 ウィークプログラマ



概要・特長	2
仕様	2
形番一覧表	3
プログラム設定方式	4
ブロック図	7
機能説明・キー表示説明	8
操作手順	12
プログラム手順 (書込・読出・消去・修正・追加)	14
時刻調整	22
外部設定アジャスト	23
曜日変更	24
モニタ動作機能	26
残り設定数の確認・停電検出	27
エラー表示	28
出力操作・外部クロック	29
順次起動	30
パルス出力・プログラム設定数	31
繰り返し運転のプログラム方式	32
バッテリー表示、交換	37
入力コネクタと配線・多重伝送出力	38
出力スイッチと出力端子台	39
出力回路と出力配線、配線上の注意事項	40
取扱注意事項	40
プログラムコーディングシート	42
外形寸法図	43
取付穴加工図、アクリル扉付外形図	44
アクリル扉取付手順	45

概 要

WEG-6401形ウィークプログラマはあらゆる曜日、時刻制御ができるプログラマです。
WEG-6401はマイクロプロセッサを駆使して最大64の出力に対して何度もON、OFF制御でき、しかもプログラム設定最大2,000設定までできます。ビル、学校、病院、劇場等の冷暖房、時報、BGMの自動化に幅広くご利用頂けます。

特 長

- ・1週間の時刻制御が簡単なキー操作でプログラムできます。
(繰り返し運転も簡単にプログラムできます。)
- ・1出力につきON、OFF設定が何度もできます。
- ・1週間のうち各曜日異った時刻設定ができます。
- ・曜日プログラムの設定変更がワンタッチでおこなえます。
- ・メモリの停電補償は30日。(25℃において)
- ・停電時、時刻はバッテリーバックアップで24時間保償します。
- ・親時計からの信号でも働かせることができます。(30秒反転パルス)
- ・親時計または時報信号によって一定時刻に毎日セットできます。
- ・運転中にプログラム内容の追加、修正、消去ができます。
- ・運転中に時刻調整ができます。
- ・試運転時のモニタが容易にできます。
- ・常時、起動時は負荷の一斉起動を避けるため、順次起動がついています。
- ・プログラム操作間違はブザーで知らせます。
- ・全ての機能がモジュール化されており、メンテナンスが容易です。
- ・多重伝送出力を内蔵できますので、配線工数が大幅に削減できます。(ただし、準標準)
- ・時刻調整をした時、プログラム上アジャスト時刻以前にONになっている出力に順次起動をかけるプログラムアジャスト機能が付いています。

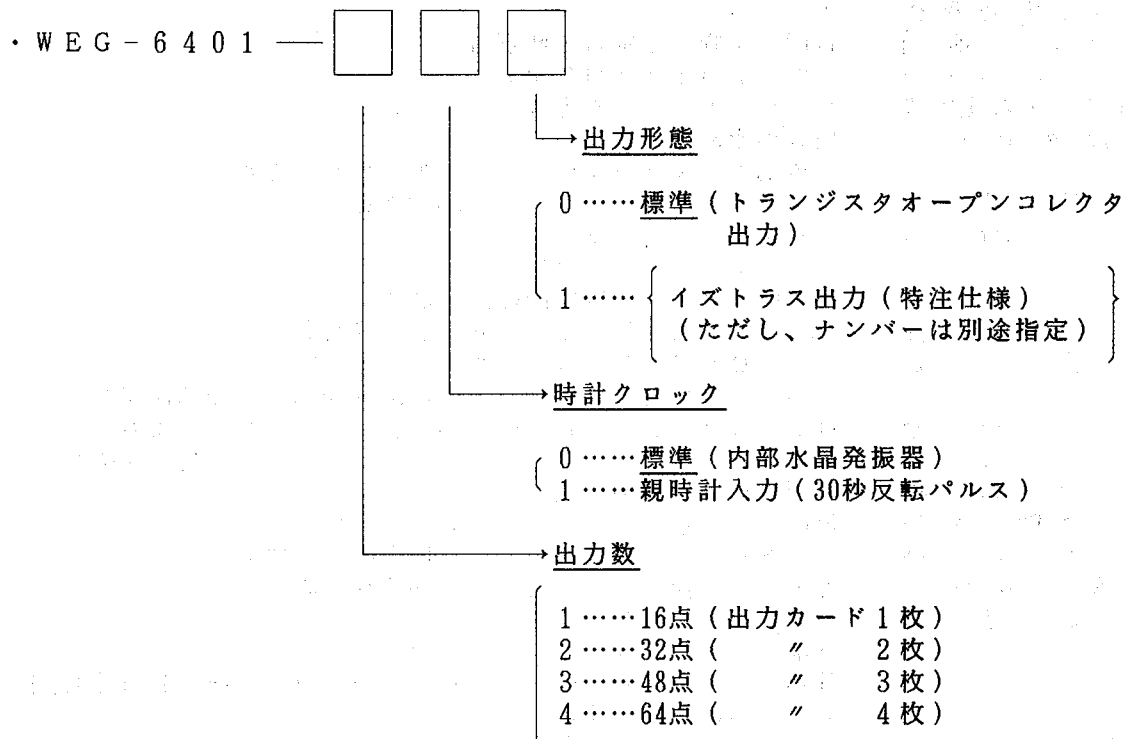
一般仕様

電 源	電 圧	AC100V±10% (50/60Hz共用)
消 費	電 力	約 50VA (64出力ON時)
保 存	温 度	-10℃～+60℃
使 用 周 囲	温 度	0℃～+50℃
周 囲	湿 度	30%～90% RH (結露しないこと)
耐 電	電 圧	電源端子——本体ケース間 AC1,500V 1分間
絶 縁	抵 抗	電源端子——本体ケース間 100MΩ以上 (DC500Vメガー)
耐 振 動	性 性	JIS C 0911 II B 3種に準拠
耐 衝 撃	性 性	JIS C 0912に準拠
耐 ノ イ ズ	性 性	NAME ICS 3-304に準拠
取 付 け 方	式 式	埋込み取付け
重 量	量 量	約 17 kg (アクリル扉取付け時 約20kg)
塗 装	色 色	マンセル 5B 3/2 近似色
表 面	アクリル 扉	アルミサッシ粹 (オプション)

性能仕様

時刻設定範囲	00時00分 ~ 23時59分
最小設定時単位	1分
曜日設定範囲	日曜～土曜の7曜日と特別日
プログラム設定数	2,000設定(5頁参照)
プログラム設定方式	キーボードスイッチ方式
時計クロック	内蔵の水晶発振器 (外部クロックで計数できるタイプもあります。)
記憶装置	C MOS RAM 8Kワード (2,000設定)
停電対策	バッテリーバックアップ方式 メモリ……………30日保証 (25℃) 時計……………24時間保証 (25℃)
出力数	64点 (16点単位の組合わせ、最小16点)
出力設定	ON、OFF、PLS (パルス) の3設定 (パルス幅は 0.5秒、キー操作により 0.5秒～99.5秒間)
出力容量	DC24V 150mA (V_{SAT} …… max1V)、トランジスタ出力 (40頁参照)
曜日切換	全曜日対象に切換可能
モニタ動作機能	何時からでも可能
順次起動	常時またはアジャスト時 (キー操作により選択)
順次起動間隔	3秒 (キー操作により 0.5秒～99.5秒可能)
時計精度	月差±40秒 (0℃～50℃)
入力	外部アジャスト信号 外部クロック信号……………ただし、この入力は、WEG-6401-□1□ のときのみ有効です。
出力用外部電源	DC24V (±10%) が必要 (40頁参照) (出力表示ランプ、外部負荷用)

○ WEG-6401 形番一覧表



・機種一覧表

	内 容	形 番
機 種	出力16点 (水晶発振トランジスタ出力)	WEG-6401-100
	出力32点 (")	" -200
	出力48点 (")	" -300
	出力64点 (")	" -400
オ プ シ ョ ン (別 売)	バッテリーボックス 注)	WEG-B1
	アクリル扉	WEG-C1
	出力カード 注)	WEG-E2196

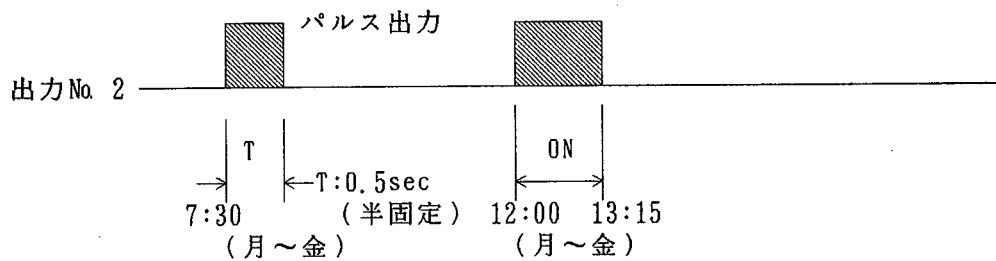
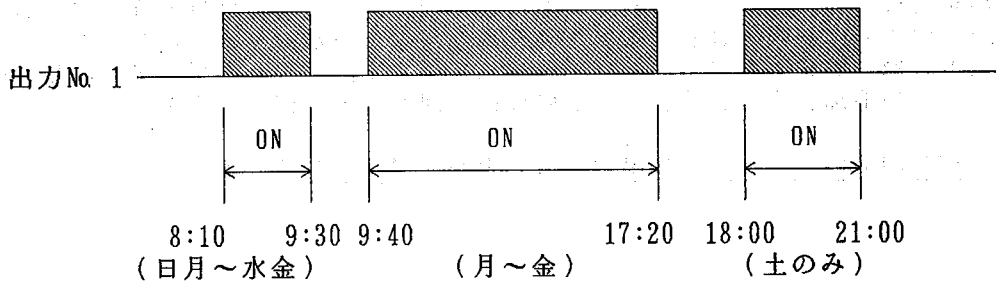
注) 交換用です。

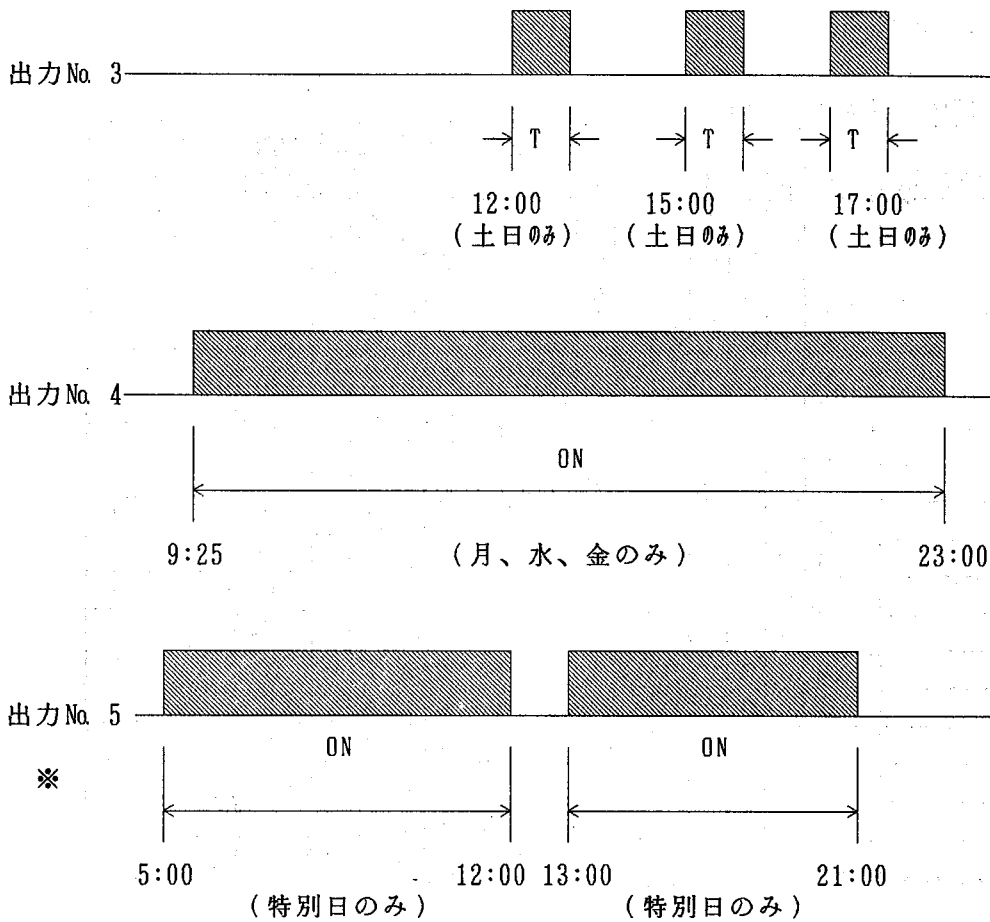
(プログラミングシート)

出力名称	OUTPUT	WEEK								TIME		OUT COND			備考
		SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	S.P.	H	M	ON	OFF	PLS	
出力No. 1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	10	0			
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	30		0		
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	40		0		
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	20		0		
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	00		0		
出力No. 2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	30			0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	00		0		
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13	15		0		
出力No. 3	3	0						0	0	12	00			0	
	3	0						0	0	15	00			0	
	3	0						0	0	17	00			0	
出力No. 4	4	0		6		0			0	9	25		0		
	4	0		0		0			0	23	00		0		
出力No. 5	5							0	0	5	00		0		
	5							0	0	12	00		0		
	5							0	0	13	00		0		
	5							0	0	21	00		0		

注；上表1行が1設定です。（曜日は1日だけでも8日全部でも同じ1設定となります。）

・上記プログラムシートのタイムチャートは次のようになります。



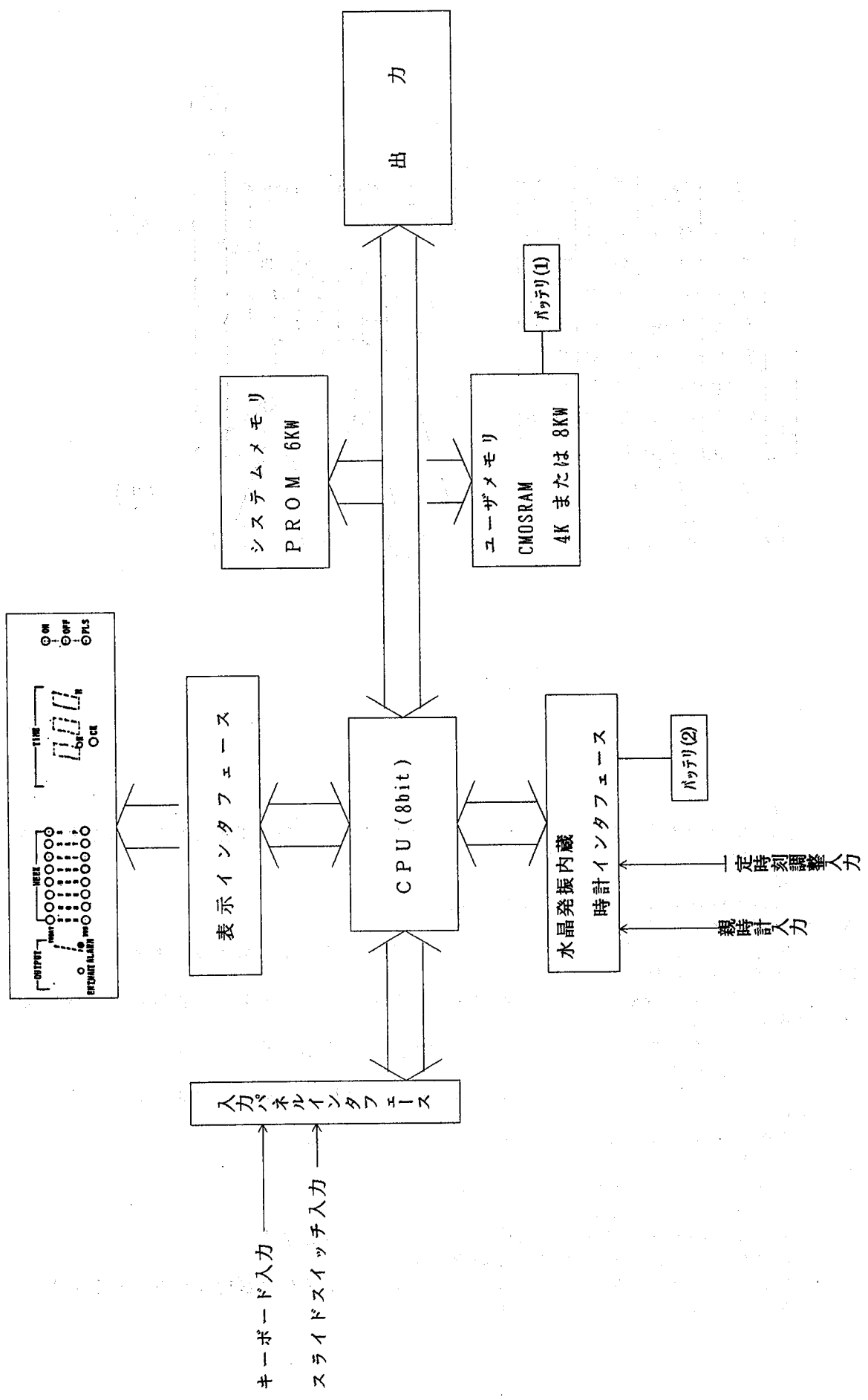


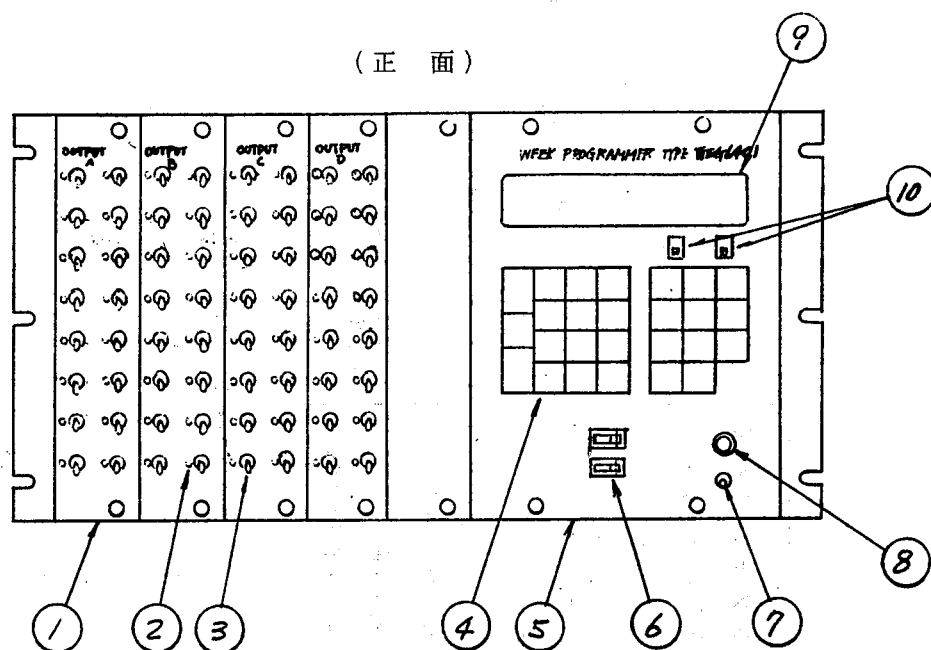
※出力 No. 5 は特別日用プログラムであり、日～土を WEEK-CHANGEにて設定した曜日のみ動作します。

◎プログラミングシートに記入する際は、同じ出力に対しては時刻の早い順、また同じ時刻の場合は ON、OFF、PLS の順にまた前記同じの場合は日～特の順にしてください。順不同に記入されましても、動作には何ら支障がありませんが、ウィーク内部では上記順に整理されてメモリに記憶されています。いったんプログラムした後にプログラムの追加、修正、消去しても同様に整理されて記憶されます。

★ WEG-6401のプログラムは出力番号を中心に構成されています。

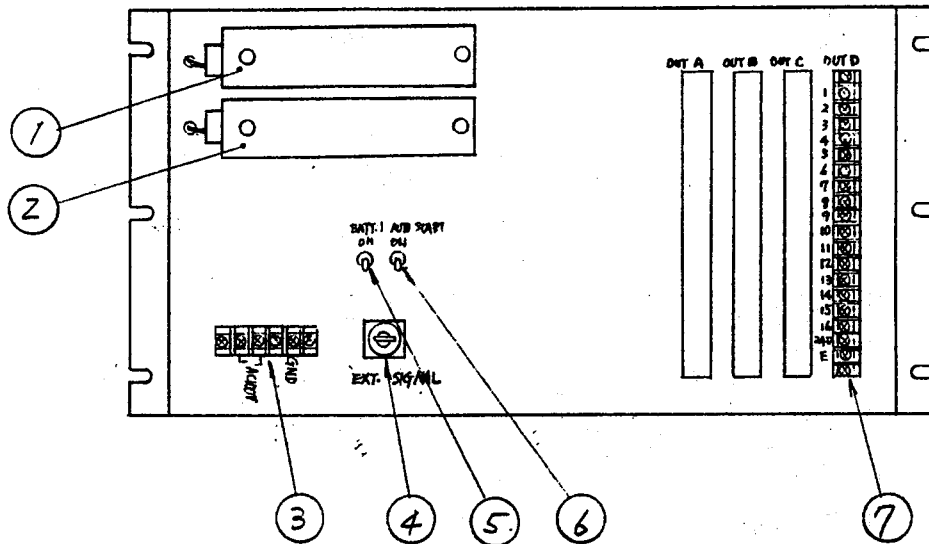
ブロック図





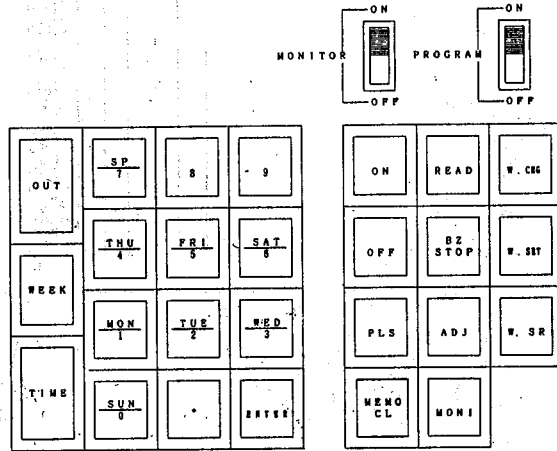
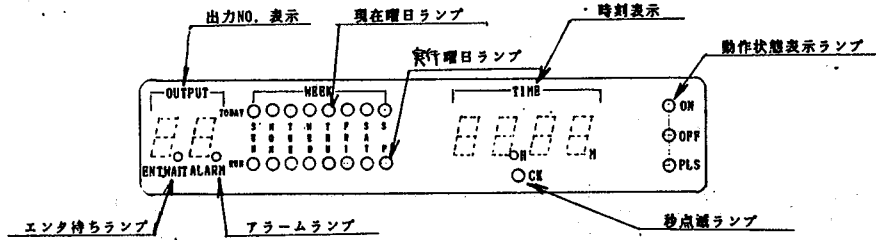
- ① 出力ボード
16点単位の出力で構成されており、各々の出力に自動、手動（ON-OFF）の
切換用スイッチが付いています。
- ② 出力表示ランプ
出力の動作を発光ダイオードで表示します。
- ③ 出力切換スイッチ
出力の自動、手動（ON-OFF）を3段階に切換えるスイッチです。
- ④ プログラム用操作キー
プログラムの書込、読出、時刻設定、曜日設定など全てのキー操作をおこないます。
- ⑤ 設定および表示ボード
プログラムの設定およびプログラムのデータを表示するボードです。
- ⑥ バッテリ表示メータ
内蔵されている2種類のバッテリ電圧をメータにて表示しています。
- ⑦ POWERスイッチ
電源投入用スイッチで、ロック機構になっています。
- ⑧ FUSE
5Aのヒューズが内蔵されています。
- ⑨ プログラムデータの表示
出力No・曜日・時刻・出力状態等のデータを表示します。
- ⑩ PROGRAM、MONITOR切換スイッチ
PROGRAM状態（ON-OFF）、MONITOR状態（ON-OFF）の
切換え用スライドスイッチです。

(裏面)



- ① BATTERY 1
メモリ (CMOS) の停電バックアップ用バッテリーです。(WBG-B1)
- ② BATTERY 2
タイマ (時計) の停電バックアップ用バッテリーです。(WBG-B1)
- ③ 電源入力端子台
電源 (AC100V) 入力端子、GND 端子 (P.G)
- ④ 制御入力コネクタ
外部アジャスト (CONT ADJ) 信号、外部クロック (CLOCK) 信号の入力コネクタです。
- ⑤ BATTERY 1 スイッチ
BATTERY 1 の投入スイッチです。(メモリ用スイッチ)
- ⑥ AUTO START スイッチ (BATTERY 2)
ON ; 運転中停電があれば停電中タイマをカウント続行し、復帰後直ちに自動運転に入ります。
OFF ; 停電発生と同時にタイマはクリアし、復帰後は、時計のアジャスト操作が必要です。
- ⑦ 出力端子台
無接点出力の端子台です。

・プログラムデータの表示及操作キー



・操作キーの説明

OUT キー（アウトキー）……………出力No.を設定する時に用いるファンクションキーで操作すると出力No.の表示が消灯します。

WEEK キー（ウィークキー）……………曜日を設定する時に用いるファンクションキーで操作すると曜日ランプが全て消灯します。

TIME キー（タイムキー）……………時刻を設定する時に用いるファンクションキーで操作すると時刻表示が消灯します。

SUN 0 **MON 1** **TUE 2** **WED 3** **THU 4** **FRI 5** **SAT 6** **S P 7** ……数字と曜日のダブルキーで、

WEEK 操作した直後のみ曜日キーが有効となります。

8 **9** キー……………数字設定キーに使用します。

. キー……………時刻設定時に用いるキーで時刻設定を時間単位から分単位に切替えるキーです。

ENTER キー（エンターキー）……………プログラムデータの書き込み用キーで操作すると ENT. WAIT（エンター待ち）ランプが消灯します。
{ OUT81 ~ OUT99 の特別ファンクションを使うときは ENT. WAIT ランプは消灯しません。 }

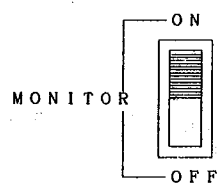
ON キー（オンキー）……………プログラムデータ設定時、出力の動作状態を“ON”に設定します。

OFF キー（オフキー）……………プログラムデータ設定時、出力の動作状態を“OFF”に設定します。

- PLS キー（パルスキー）…………プログラムデータ設定時、出力の動作状態を“ P L S ”（パルス）に設定します。
- MEMO CL キー（メモリアキー）…………メモリ（C M O S ）に書き込まれたプログラムを読み出した後、消去する時に用い、操作すると消去したデータは点滅表示します。
- READ キー（リードキー）…………メモリ（C M O S ）に書き込まれたデータ、アジャスト時刻などを読み出します。
- BZ STOP キー（ブザーストップキー）…………キー操作間違いによるブザー音をキャンセルしたり初期リセット（停電検出のリセットも含む）の時に使用します。
- ADJ キー（アジャストキー）…時刻調整に用いるキーでアジャストされた時刻より時計はスタートします。
- MONI キー（モニタキー）…………試運転時、プログラムデータによる実動運転をモニターする時に用い、キーを操作する毎に時計を次の出力が変化する時刻まで早送りします。（テスト運転）
 - MONI キーは、モニタスイッチが O N の状態の時のみ有効です。
- W. CHG キー（ウィークチェンジキー）…………曜日変更に使います。
- W. SBT キー（ウィークセツキー）…………W. CHG キーにて曜日変更した内容をセツします。
- W. SR キー（ウィークソフトリドキー）…………曜日変更の内容を操作する毎に順次読み出します。

・ M O N I T O R スイッチ、P R O G R A M スイッチの説明

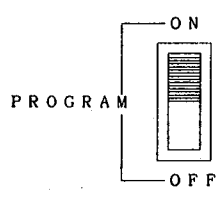
・ モニタスイッチ



O N ……プログラムモニタをする時のみ O N にして MONI キーを有効にします。O N 時は A L A R M ランプが点滅して、状態を表示し MONI キー及び BZ STOP のみ有効となります。

O F F ……通常運転時は必ず O F F 状態にしておいてください。

・ プログラムスイッチ

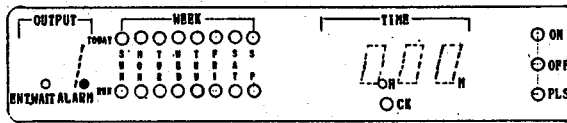


O N ……操作キーを全て有効にします。

O F F ……全ての操作キーをロック状態にし、現在曜日、実行曜日、現在時刻のみを表示します。
 { 運転中 P R O G R A M スイッチを O F F にすれば O F F するまでの表示とは関係なしに上記表示になります。 }

操作手順

2.3 秒後



・出力No.1と時刻 0H00Mを点滅表示。

・POWER ON直後は無意味な表示になりますが2、3秒後に上の表示になります。

・ALARMランプ点滅。

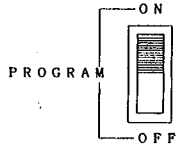
POWER スイッチ ON

初期リセット



キーONでブザーをキャンセルしますとALARMランプが消灯して初期リセットが完了します。(13頁参照してください。)

PROGRAMスイッチON



PROGRAMスイッチON。
(この時MONITORが必ずOFFになっているかを確認。)

プログラムの書込

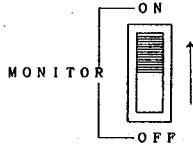
プログラムの読出

消去・修正

……プログラム手順を参照。

確認

モニタ動作



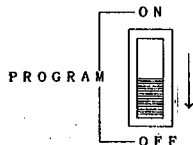
MONITORスイッチをONにしてMONIキーを操作しながらモニタ動作を確認。
確認後は必ずMONITORスイッチをOFFにして下さい。

曜日・時刻アジャスト



キーにて曜日、時刻をセットします。

PROGRAM スイッチOFF



・PROGRAMスイッチをOFFにして全ての操作キーをロック状態にします。

自動運転

電源投入直後の操作手順

(POWER スイッチONの後) ……数秒間ブザーが鳴り、(鳴らない時もある。)

ALARM ランプ点滅。

裏面の
BATTERY 1 のSW
をON側に倒す

裏面の
AUTO START SW
をON側に倒す

……停電復帰後自動運転する場合のみ操作してください。

(AUTO START OFFであれば ALARMランプは点滅したままです。)

BZ
STOP キーを押す

……初期リセット

{ ブザーが鳴らなくても必ず操作してください。
操作しないと ALARMランプは点滅したままです。 }

ALARM ランプ 消灯

YES

初期操作終了

OUT 9 8 READ キーON
の操作すれば時刻表示のところに
"0" が出てエラー無しを表示

NO

エラー内容確認のため

OUT 9 8 READ キーON

……時刻表示のところに数字が出ます。

(内容は取説 エラー表示 項目を参照。)

ALARM クリアのため

ENTER キーON

ALARM ランプ 消灯

YES

NO

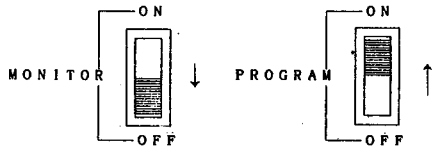
……もう一度電源スイッチをOFF-ONにして上記操作を
してください。以前と変化がなければWEGの不良。

エラー内容確認のため

READ キーON

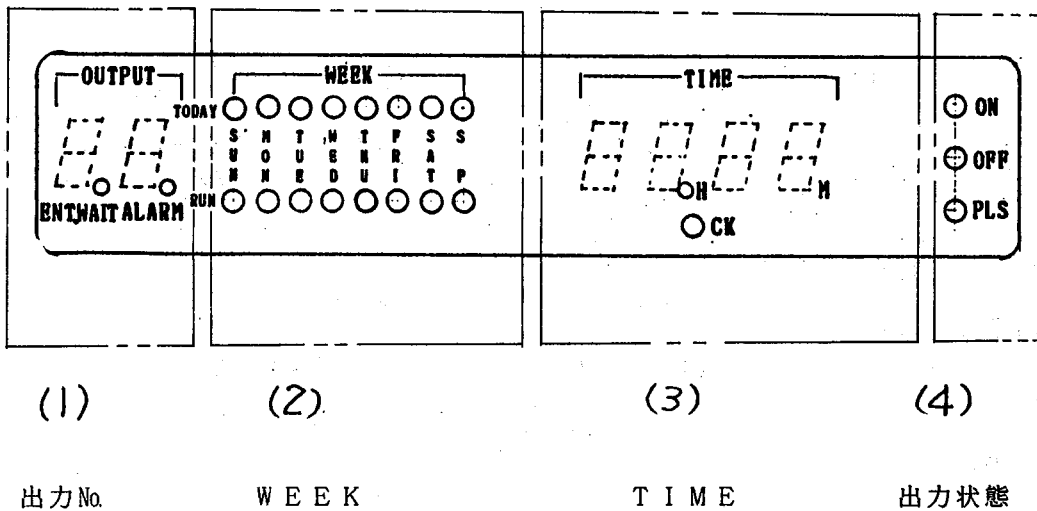
プログラム手順

- WEG-6401形ウィークプログラマは全てのプログラムをキースイッチにておこないますが、キースイッチを操作する前にまず、MONITORスイッチをOFF、PROGRAMスイッチをONにしてください。



- MONITORスイッチはモニタ時以外は全てOFF
- PROGRAMスイッチはONにすると全てのキースイッチが操作可能となります。

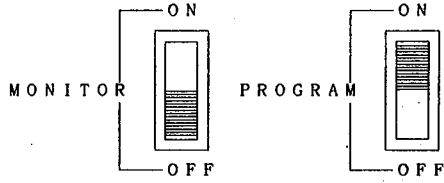
- プログラムデータの書込み、消去、修正、追加
プログラムデータは、下記のように4つの部分（出力No. WEEK、TIME、出力状態）に分かれていますので、設定するには表示部を充分確認の上、操作してください。



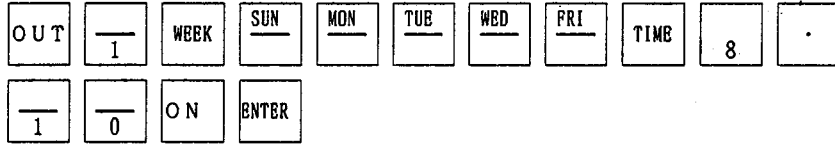
注； プログラムの書込み、消去、修正、追加はウィークプログラマの起動前、起動中を問わずできますが、起動中の場合のみ、変更した瞬間から変更プログラムで動作します。（ただし、実際の出力は分処理をおこなった時に変化します。）

プログラムの書込み

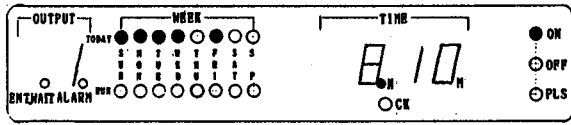
・プログラミングシートに従って以下の手順で書き込みます。



〈操作〉

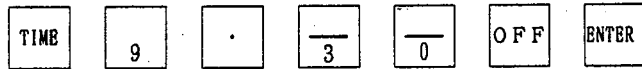


〈表示〉

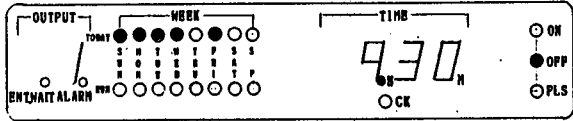


1 設定

〈操作〉



〈表示〉



2 設定

・連続して書き込む場合は前設定（現在表示）と異なる部分のみ変更して書き込むことができます。

以下同様に上記手順にしたがって書き込んでください。

・ [OUT] [WEEK] [TIME] [ON] [OFF] [PLS] の内どれか1つでも操作しますと BNT.WAIT

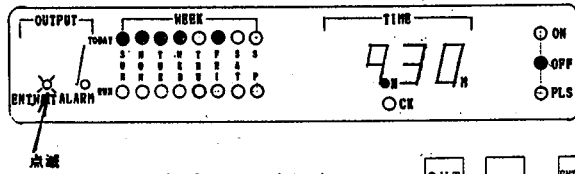
ランプ（ [ENTER] キー待ち）ランプが点滅してエンター待ちを表示します。

4つのデータ（出力ON、WEEK、TIME、出力状態）を正しく設定した後 [ENTER] キーを操作しますと BNT.WAIT ランプは消灯して書き込みが完了したことを表示します。

・ [ON] [OFF] [PLS] キーについては、3つのキーの内最後に操作したキーの内容を表示します。

・ [ENTER] キーを操作してデータをメモリに書き込む以前に、表示データに間違いがあれば間違っている箇所のみ修正することができます。（ BNT.WAIT ランプ点滅中）

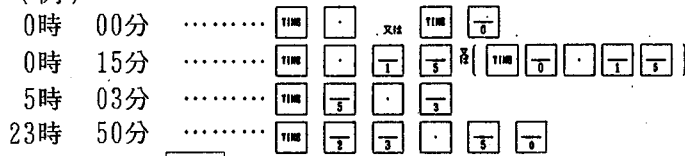
(例)



- ・出力No.の訂正 **OUT** **数字+** **ENTER**
- ・曜日の訂正 **WEEK** **曜日+** **ENTER**
- ・時刻の訂正 **TIME** **数字+** **数字+** **ENTER**
- ・出力状態の訂正 **ON** 又は **PLS**

・時刻設定は下図の例を参照してください。

(例)



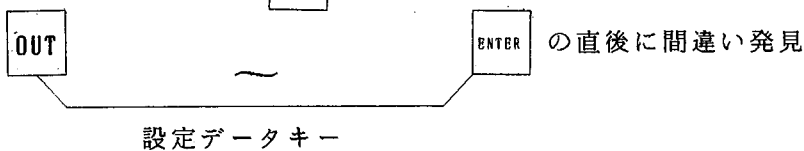
注 ; **.** キーは時刻設定を時間単位から分単位に切り換えるキーです。

- ・書き込まれたデータは編集されてメモリに格納されます。編集の優先順位は次の順番です。
 1. 出力No.の小さい順 (1 → 64)
 2. 時刻の早い順 (0時00分 → 24時00分)
 3. 出力動作状態の順 (ON → PLS → OFF)

- ・運転中に現在曜日、時刻と同じ出力パルスのデータを書き込んでもパルスは出ません。
- ・出力No.の最大は64、時刻は24時00分までですので、それ以上の設定をしますと操作エラーになります。
- ・操作エラー解除

操作エラーになりますと ALARMランプが点滅 (ENT, WAIT ランプは点滅を保持したまま)、ブザーが鳴りますので、必ず **BZ STOP** キーを操作してブザー音をキャンセルした後、表示に間違いがないか、操作に間違いがなかったかを確認の上、正しいデータをセットして再び書き込んでください。

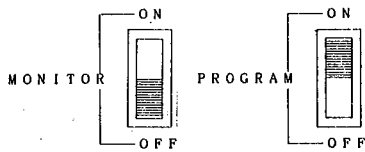
- ・ **ENTER** キーを操作してデータをメモリに書き込んだ直後に間違いを発見した時はただちに **MEMO CL** キーを操作して今書き込んだデータをメモリからクリアした後、間違いのある箇所のみ訂正して再び **ENTER** 操作してください。



MEMO CL キーにてメモリからクリアした後、間違い箇所のみ訂正 (訂正操作は **MEMO CL** キー直前の訂正例を参照)

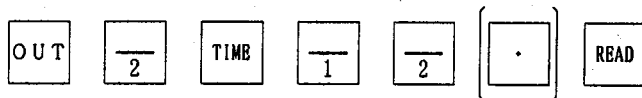
プログラムの読み出し

・プログラムデータがメモリに正確に記憶されているか順々に読み出して確認します。

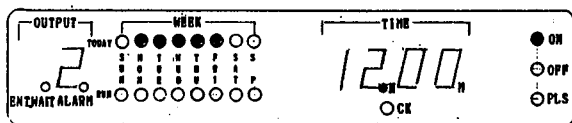


読み出したいデータの出力No.と時刻をセットしてから **READ** キーの操作をしてください。

〈操作〉



〈表示〉



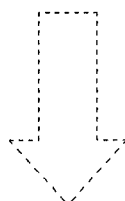
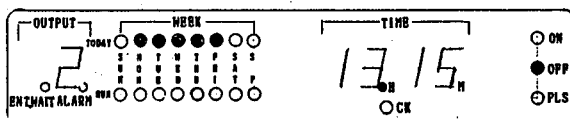
・セットしたデータを読み出します。

〈操作〉



・一度読み出した後は **READ** キー操作だけで順次データを読み出せます。

〈表示〉

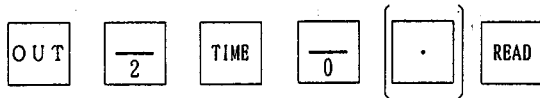


同様に **READ** キーの操作をしますとデータを順次読み出せます。

読み出す優先順位は **書き込み** の優先順位と同様ですので参照してください。

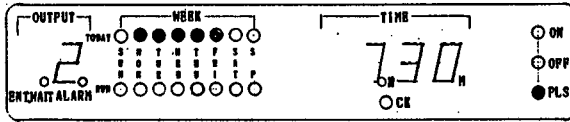
・セットした出力で一番早い時刻からデータを読み出すには以下の手順で行ってください。

〈操作〉



・時刻を 0時00分にセットします。

〈表示〉



・セットした出力で一番早い時刻のデータが読み出せます。

注；時刻設定は表示に何らかの時刻が出でいればあえて時刻は 0時00分にセットする必要はありません。

・次の状態で **READ** キーの操作をしますと操作エラーになります。

- ・出力No.と時刻をセットしていない時。
- ・出力No.を最大出力数以上にセットした時。(注；出力No.99~81は特別ファンクションキーになるためエラーになりません。)
- ・時刻を24時01分以上にセットした時。
- ・メモリに書き込んでいない出力No.をセットした時。
- ・その他、関係のない操作キーを押した場合。

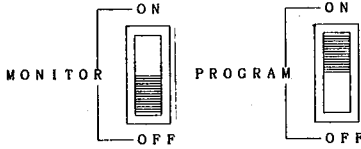
・操作エラーの表示と解除

操作エラーになりますと ALARMランプが点滅 (ENT, WAIT ランプは点滅保持したまま)、ブザーが鳴りますので、必ず **BZ STOP** キーを操作してブザー音をキャンセルした後表示に間違いがないか、操作に間違いがなかったかを確認の上、正しいデータをセットして再び書き込んでください。

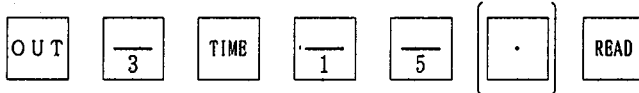
・ **READ** キーを操作しますと ENT, WAIT のランプは消灯します。

プログラムの消去

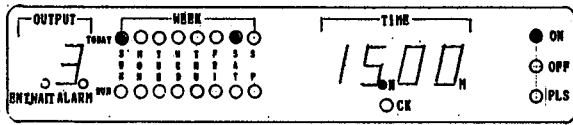
・いったん、メモリ内に入れたプログラムデータを消去したい場合には消去したいデータを **読み出し** 手順に従って表示させてからクリア操作をしてください。



〈操作〉



〈表示〉



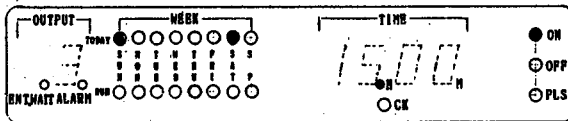
・まず消去したいデータを出力No.と時刻をセットして読み出します。

READ キーにてデータを読み出すとENT, WAITランプが消灯してメモリのデータを表示していることを表わします。

〈操作〉

MEMO CL

〈表示〉



・次にクリア操作をしますと出力No.と時刻が点滅してメモリからデータが消去されたことを表示します。

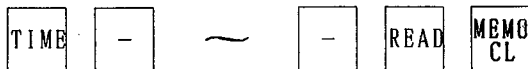
続いてデータをクリアする場合

(1) 消去した次のデータを消去する時

READ …………… 消去した次のデータが表示されます。

MEMO CL …………… 上記と同様に出力No.と時刻が点滅してクリアされたことを表示します。

(2) 同出力No.で異なるデータを消去する時



数字キー（時刻設定）

・消去したいデータの時刻のみをセットします。

TIME キーを操作すると出力No.の点滅が止まり、時刻表示は消灯します。

(3) 同時刻で異なるデータを消去する時



数字キー（時刻設定）

- ・消去したいデータの時刻のみをセットします。
- ・ **OUT** キーを操作すると出力No.の点滅が止まり、出力表示は消灯します。
- ・間違って **MEMO CL** キーを操作してメモリからデータをクリアした場合
点滅している前データと同じ出力状態キー（ **ON** **OFF** **PLS** キー）を操作すれば点滅は止まり、ENT. WAITランプが点灯しますので **ENTER** キーの操作をすれば再びメモリに前データが書き込まれます。
- ・運転中データの消去はできますが実際の出力は分処理の時、変化します。

全消去

- ・メモリに書き込まれているデータを全てクリアするには以下の手順でおこなってください。

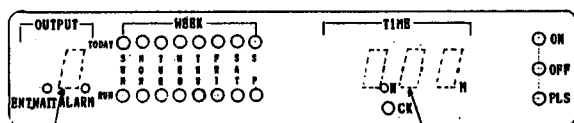
〈操作〉



全消去用出力
No.ファンクション
「0」をセット

全曜日セット

〈表示〉



MEMO CL キー操作で出力No.が点滅 **MEMO CL** **MEMO CL** キー操作で時刻表示も点滅

- ・指定の曜日のデータだけを全消去するには左の操作の中で全曜日をセットせずに消去したい曜日をセットしてください。

プログラムの修正

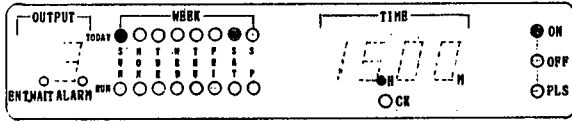
- メモリに書き込まれているデータの修正はメモリから修正したいデータを **消去** 手順に従っていったんクリアした後、以下の手順に従っておこなってください。

〈操作〉



- まず修正したいデータを読み出してクリアします。

〈表示〉

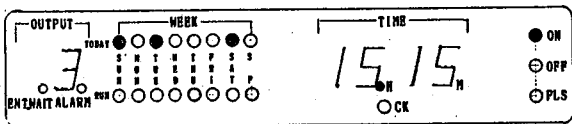


- 上記でクリアしたデータに火曜日を追加し、時刻を15時00分から15時15分に変更する場合の修正手順。

〈操作〉



〈表示〉



- 修正したい項目のデータのみをセットして再び書き込めば修正手続きは終了します。

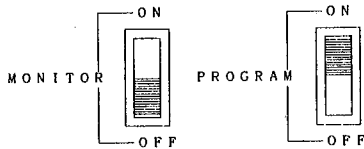
- 運転中にデータを修正すると直ちに修正されますが実際の出力変化は分処理の時におこないます。

プログラムの追加

- 設定数の許す限り **書き込み** 手順に従ってプログラムデータを追加することができ、追加されたデータは編集されてメモリに書き込まれます。また、設定数をオーバーした場合は ALARMランプが点滅表示します。
- 出力No、時刻、出力状態が同じデータで曜日のみ異なるデータを追加した場合は既に入っているデータに曜日だけ追加されて書き込まれます。
- 運転中に現在曜日、時刻と同じ出力パルスのデータを書き込んだ場合、のパルスは出ません。

時刻調整 …… A D J (アジャスト)

- ・時計を現在曜日、現在時刻にセットして時計の起動をかけると同時にスタート時刻までに既にプログラム上ONしている出力に起動をかけます。
(アジャスト時刻より以前にONしている出力を番号の若い出力から順に順次起動により始動します。)



例

(現在日)

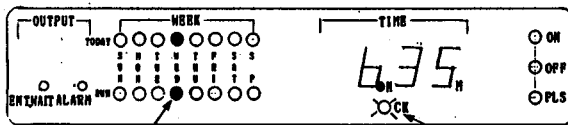
水曜日 6H35M である場合

〈操作〉



- ・現在日をアジャストします。

〈表示〉

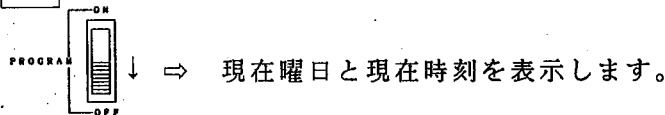


- ・アジャストされた時刻より時計は始動し、CK (1秒クロック) ランプが秒点滅表示します。

RUN (実動) ランプは曜日変更していないので TODAY (現在日) ランプと同じ曜日に点灯しています。 CK (クロック) ランプ

- ・曜日変更については **曜日変更** 項目を参照してください。
- ・ENT, WAITランプが消灯していれば、曜日、時刻が表示されていても **ADJ** キー操作は不可。
- ・時刻調整時、出力No.の設定は **ADJ** キー操作には関係ありません。
- ・アジャスト操作の後、何ら操作がなければ PROGRAMスイッチをOFFにしておいて、全てキーをロック状態にしておいてください。(運転中は常にOFF)
- ・動作中はプログラムデータの変更等があれば、表示はアジャスト時刻とは全く異なりますが、いったん、アジャスト操作をすれば、たとえ表示に出なくなっても時計はカウントを続行しています。
プログラムのデータ変更等の後 PROGRAMスイッチをOFFにすれば現在曜日と時刻を再び表示します。

いったん、 **ADJ** キー操作後であれば



- ・ **ADJ** キー操作は、時計のアジャストと同時にプログラムのアジャストを同時におこなっていますので、 **ADJ** キー操作後、時刻表示はただちに切り換わりますが、プログラムアジャストには処理時間がかかります。

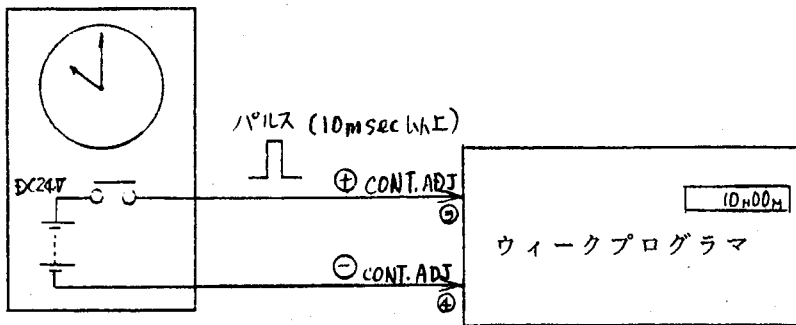
そのため時刻調整をすることによって出力の変化がある場合には、 **ADJ** キー操作後数秒遅れて動作しますのでご注意ください。

(アジャスト処理中は時刻表示の10分桁の右下にランプが点灯します。)

- ・アジャスト処理中に再びアジャスト操作すれば、後のアジャスト処理をします。

外部設定アジャスト

- ・ウィークプログラマには親時計より毎日、同時刻に時刻調整パルスを受けて、ウィークプログラマを時刻調整したい場合、ウィークプログラマに調整時刻を予めセットしておき、親時計よりパルスが入ってくるとただちにWEGを調整時刻にアジャストする機能が装備されています。

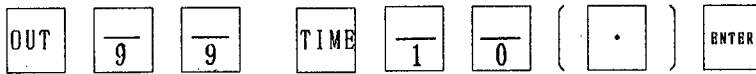


(親時計)

- ・親時計から1日1回校正されることになります。

- ・ウィークプログラマでの外部設定アジャストは以下の手順でセットします。

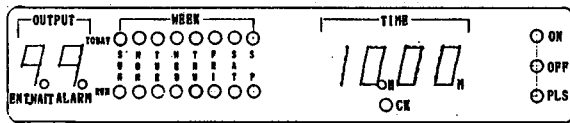
〈操作〉



外部設定アジャスト
用出力No.ファンクシ
ョンキー

アジャスト時刻
(例 10時)

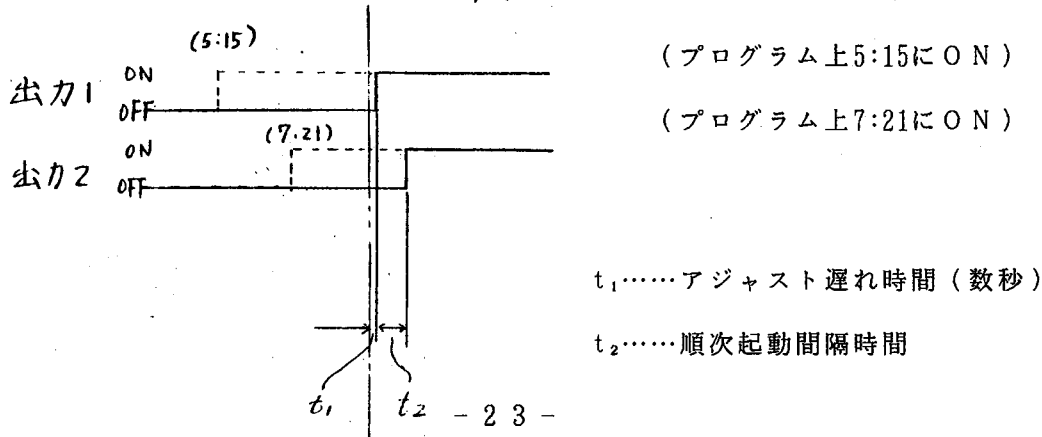
〈表示〉



- ・外部アジャストをセット後、運転中に外部アジャストパルス入力が入ってくるとただちにウィークプログラマの時計は外部アジャスト時刻にアジャストされますが、表示に現在曜日と現在時刻が出ていなければ、アジャストされた時刻は表示には出ません。また、外部アジャストをセットしないで、運転中、外部アジャスト入力が入ると、電源投入時のランダムな値になりますのでご注意ください。
- ・時刻調整時には同時にプログラムアジャストの機能が働いてプログラム上、アジャスト時刻以前にONになっている出力を順次起動させていきます。(下図参照)

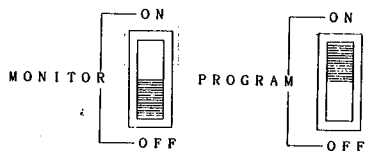
プログラムアジャストは **ADJ** キー操作、外部設定アジャストのどちらでも同様の処理をします。

アジャスト時刻 (例 8:30)



曜日変更

・プログラムの内容を変更しないである曜日を特定曜日のプログラムで実行する場合に操作します。この場合ある曜日が終了しますと自動的に元の曜日プログラムに戻ります。



(例)

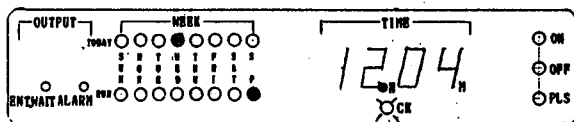
水曜日と特別日プログラムで実行する場合

〈操作〉



・曜日変更をセットします。

〈表示〉

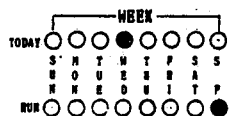


・曜日変更がRUN曜日に表示します。

・上記曜日変更を元に戻す時は WEEK WED W. CHG WED W. SBT キー操作をしてください。

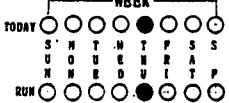
・曜日変更を確認したい場合

W. SR キーを操作すれば TODAYランプが SUN …… SATまで進んで各々の曜日に対する RUN (実行) 曜日を表示します。



・水曜日は特別プログラムで実行する曜日変更

W. SR キー ON



・木曜日は曜日変更なし (同じ曜日のランプ点灯)

W. SR キー操作にて一週間のプログラムは確認できます。

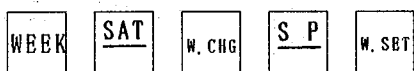
- ・曜日変更は設定中でも動作中でも、できますが、必ず曜日を2個以上に同時に設定しないでください。2個以上セットするとエラーになります。



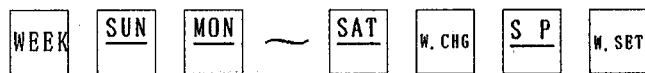
必ず1個のみ

たとえば全曜日を特別日プログラムで実行する場合でも各曜日毎に上記設定を繰り返しておこなってください。

(正)



(誤)



2個以上はエラーになります。

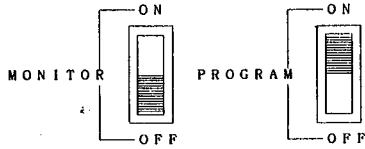
- ・曜日変更は、1週間以内ならいつでもできますが、当日になっての曜日変更も有効です。この場合は変更した時点から変更曜日のプログラムを実行します。ただし出力の変化は分処理の時におこないます。
- ・いちど設定した曜日変更をキャンセルする場合の操作
(例) 水曜日を特別日に曜日変更したが、それをキャンセルするには、



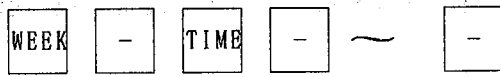
と操作します。

モニタ動作機能

- ・試運転時等にプログラムの模擬テストをする際、この機能を使用すれば手動にて確実に動作の確認ができます。

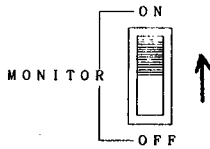


〈操作〉



必ず1曜日
のみセット

時刻をセット



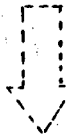
注：モニタ動作する時に出力が出ますので、最終負荷の電源を落としてください。

(外部DC24V電源は入れたままにしてください。)

- ・モニタしたい曜日、時刻をセットしてください。



- ・MONITORスイッチをON (ALARMランプが点滅してモニタ中を表示)



- ・MONIキーを操作しますと、セットした時刻から時計を早送りし(設定数によりスピードは変わります)出力が変化する時刻になると止まり、出力が変化します。

ただし、モニタ動作のON出力は一斉に出ません。(順次起動はしません。)

MONIキー操作を繰り返します。

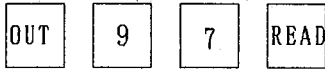
- ・終了すればMONITORスイッチは必ずOFFに戻してください。ONのままであれば、他の操作ができません。(運転中にOFFに戻すと出力状態保持運転前にOFFに戻すと全出力OFF)
- ・アジャスト中および順次起動中はモニタ操作ができません。
- ・上記モニタ曜日、時刻をセットする時に間違いがあってもエラーにはならずMONIT

ORスイッチをONにしてMOMキーの操作すればエラーブザーになります。この時はただちにMOMキーを操作してブザーを止め、MONITORスイッチをOFFにして設定し直してから再びMONITORスイッチをONにしてMONIキー操作をしてください。(MONITORスイッチONの時はBZ STOP、MONIキーしか操作できません。)

残り設定数の確認

- ・メモリの残り設定数を以下の手順で確保できます。

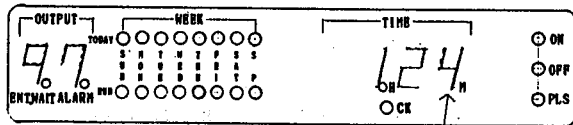
〈操作〉



- ・出力No.「97」をリード

残り設定数の確認用
出力No.ファンクション「97」

〈表示〉



残り設定数の表示
(この場合、124 を表示しています。)

停電検出

- ・停電を検出しますと、ALARMランプが点滅します。

これは電源投入と同じ現象ですので、電源投入時と同様に **BZ STOP** キー操作にてクリアしてください。

- ・停電になりますとメモリの内容保持と時計カウント続行がバッテリー1、2によって保護されています。

バッテリー 1 (メモリ用) 30日補償 (25℃において)
バッテリー 2 (時計用) 24時間補償 (25℃において)

- ・バッテリー1の電圧が規定電圧(DC3V)より下がりますとメモリの内容が保持できませんのでご注意ください。(メータにて確認してください。)
また動作中は必ず BATTERY1 スイッチをON状態に保っておいてください。
切れているとエラーになります。
長期間ウィークプログラマを使用しない時は必ず BATTERY1 のスイッチはOFFにしておいてください。

エラー表示

- ・エラーになりますとエラーブザーが鳴り、ALARMランプが点滅してエラーを表示します。エラーは操作エラーと内部エラーの2つに大別されます。

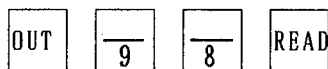
(1) 操作エラー

キー操作の手順を間違えますとエラーになりますがこの場合は **BZ STOP** キー操作によりブザーを止めた時に ALARMランプが消灯します。

(2) 内部エラー

BZ STOP キー操作によりブザーを止めても ALARMランプが点滅している時は内部エラーです。この内部エラーの詳細を調べるには以下の手順でおこなってください。

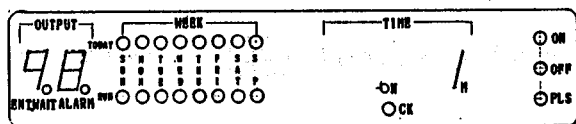
〈操作〉



- ・出力No.「98」をリード

エラー確認用
出力No.ファンクション「98」

〈表示〉

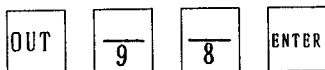


内部エラー項目の表示

・内部エラー項目

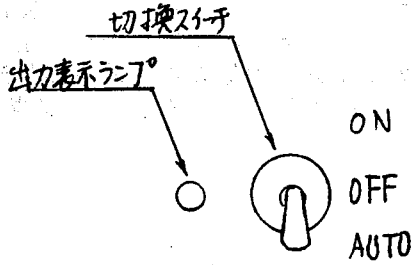
1. C MOS データ異常
2. バッテリ1電圧異常 (メモリ用バッテリー)
3. バッテリ2電圧異常 (時計用バッテリー)
4. メモリ設定オーバー……最大値で ALARMランプ点滅し、オーバーすればエラーブザーが鳴ります。
7. 停電発生
9. バスエラー

・内部エラーの解除



出力操作

・各出力には AUTO-ON-OFFの切換スイッチが装備されていますので自動、手動の切換えがワンタッチでおこなえます。



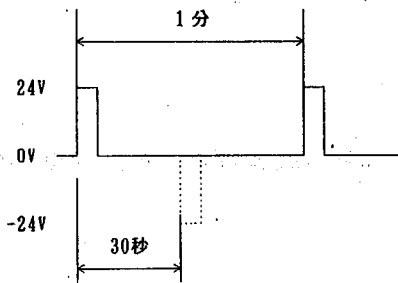
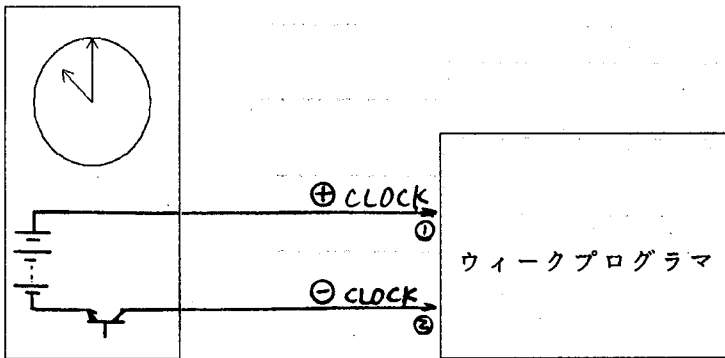
ON : 手動にて出力を働かせます。

OFF : 手動にて出力をOFFします。

AUTO : 自動運転で出力を動作させます。

外部クロック

・ウィークプログラマは親時計からのクロックによって時計を働かせることができます。
(プリント基板上で外部クロック用に切換)



・入力はチャタリングのないようご注意ください。

・この機能は、形WBG-6401-□1□のときのみ有効です。

AUTO-STARTスイッチ

- ・ バッテリ 2 は AUTO START のスイッチが ON になっている時と OFF になっている時とは停電中及び電源復帰後の状態が異なります。

AUTO START スイッチ ON …… 運転中停電になりますとタイマはカウントを続行し (CKランプのみ点滅) 電源復帰後は自動運転になります。

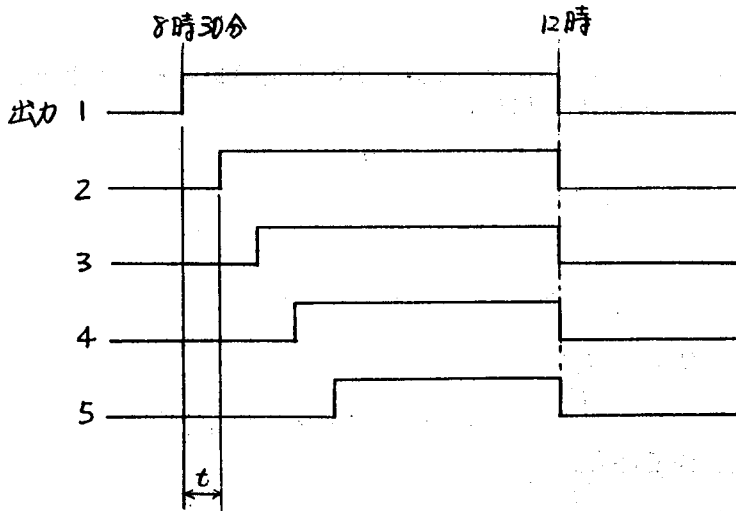
AUTO START スイッチ OFF …… 運転中停電になりますとタイマはクリアし、電源復帰後は、再びアジャスト操作をするまでは、出力は動作しません。表示は初期の電源投入直後の状態になり、出力 No. 「0」時刻表示「0h00m」の点滅状態になります。

順次起動

- ・ 負荷の一齐起動を避けるため出力を番号の若い順に一定間隔 (半固定) をおいて起動をかける機能です。

順次起動中には時刻表示の10分の位右下にランプが点灯しています。この間はモニタの操作ができません。

例 (出力 1 ~ 5 が 8時30分に ON、12時に OFF)



t : 順次起動間隔 (0.5 ~ 99.5秒半固定)

- 順次起動が働く場合に次の2種類があります。

1. 常時 ……

- ・ **ADJ** キーにて時計をスタートまたは時刻変更をした時
- ・ 運転中停電が発生して復帰した時
- ・ 2つ以上の出力が同時刻に ON 設定している時

の内、

各れか1つでもおきた場合には順次起動が働きます。

自動的に (常時) にセットされています。

2. アジャスト時のみ……

- ・ **ADJ** キーにて時計をスタート又は時刻変更をした時
- ・ 運転中、停電が発生して復電した時

の内、いずれが1つでもおきた場合には前ページの順次起動が働きます。

◆ 順次起動の変更手順

順次起動は自動的に常時にセットされていますが、アジャスト時のみに変更するには以下の手順でおこなってください。

(OUT 91 TIME 0 ……常時
 " " " 1 ……アジャスト時のみ)

◆ 順次起動間隔の変更手順

順次起動間隔は自動的に3秒にセットされていますが、以下の手順で変更できます。

- ・ 設定範囲 0.5sec~99.5sec (0.5sec単位)

(OUT 92 TIME 0.5 …0.5 秒
 " " " 99.5 …99.5 秒
 (5秒))

(注) 順次起動間隔はパルス出力よりも小さい値にセットしないでください。
 誤って小さい値にセットしますと、パルス出力がOFFになってから0.5秒後に次の出力がONになります。

パルス出力

- ・ WEG-6401形ウィークプログラマにはOFF設定の不必要なワンショットパルス出力の設定ができますが、パルス幅は自動的に0.5秒にセットされています。パルス幅の変更は以下の順でおこなえます。

◆ パルス出力幅の変更手順

- ・ 設定範囲 0.5sec~99.5sec (0.5sec単位)

(OUT 93 TIME 0.5 …0.5 秒
 " " " 99.5 …99.5 秒
 (10秒))

(注) パルス幅の設定数は順次起動間隔よりも必ず短い時間にセットしてください
 パルス幅を順次起動間隔よりも長時間にセットしますと前項の順次起動間隔の変更手順の(注)と同様になります。

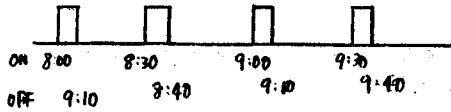
プログラム設定数

- ・ プログラム設定数は最大2,000設定までできますが、旧バージョンのWEG-6401では、1,000設定と2,000設定(増設メモリカード WEG-M2044追加時)の2種類あります。その場合、下の操作にて、最大プログラム設定数の読出しができます。

◆ プログラム設定数の読出手順

→ (時刻表示のところに1と出れば 1,000設定
 " " 2 " 2,000設定)

繰り返し運転のプログラム方法



◎左記のように一定のサイクルでON、OFFの繰り返しプログラムが数時間に及ぶ場合、以下の特別ファンクションを使用しますと簡単に設定できます。

〈特別ファンクション〉

繰り返しプログラム用のキー操作として特別ファンクションを2種類設けます。

(1) **OUT** **8** **9** ……サイクル時間の設定

繰り返しプログラムのサイクル時間を予め設定できる特別ファンクションです。(最初に必ずセットしてください。)

OUT **8** **9** **TIME** **1** **ENTER** (**OUT** **89** **TIME** **0.30** ……30分
OUT **89** **TIME** **1** ……1時間

(30分サイクルの時は **OUT** **8** **9** **TIME** **.** **3** **0** **ENTER**)

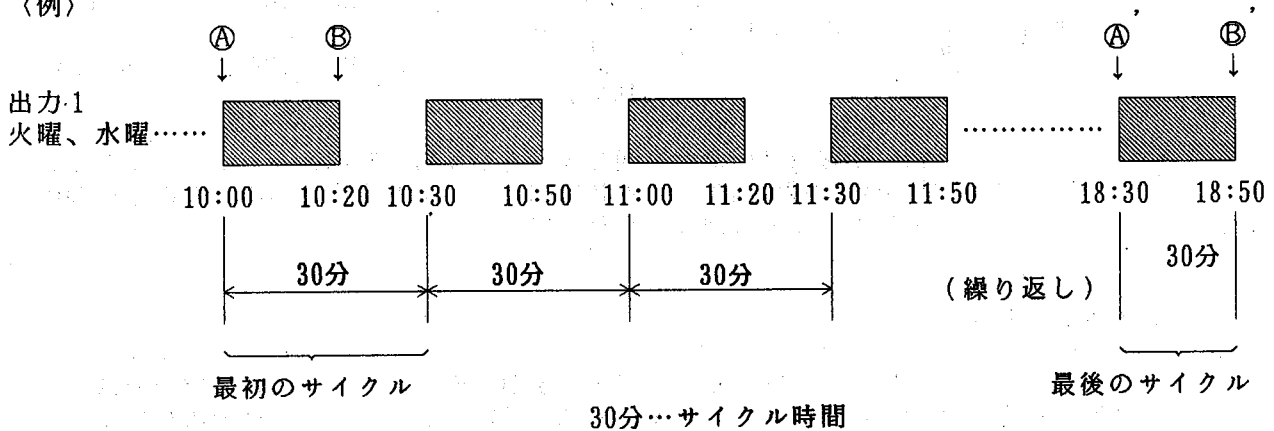
(2) **OUT** **8** **8** ……繰り返しプログラム設定

繰り返しプログラムを簡単にセットできる特別ファンクションで最初のサイクル設定と最後のサイクル設定と合わせて設定しますと自動的に最初と最後の

サイクル間のプログラムが **OUT** **8** **9** で設定したサイクル時間に従って書き込まれます。

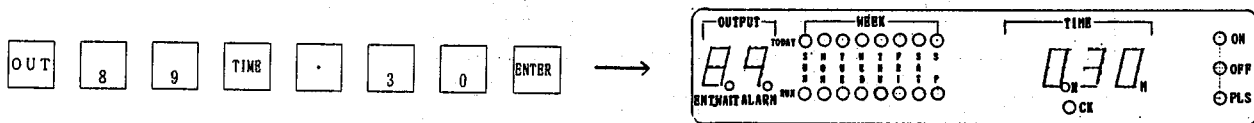
(1) プログラム設定 (書き込み)

〈例〉



〈操作〉

- ・最初にサイクル時間を設定します。



- ・次に繰り返しプログラムを設定します。

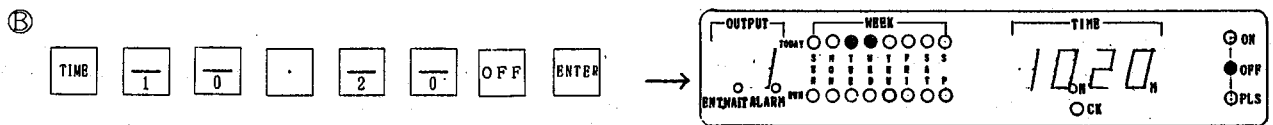


①は最初のサイクルのON設定データ

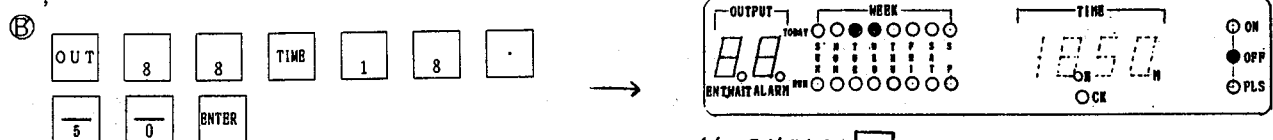


②は最後のサイクルのON設定データ

◆以上でON設定データは全て書き込み完了



③は最初のサイクルのOFF設定データ



④は最後のサイクルのOFF設定データ

◆以上でOFF設定データは全て書き込み完了

・前記設定をしますとメモリには、以下のように記憶されます。

OUTPUT No.	WEEK								TIME			ON	OFF	PLS
	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	H	M				
/			○	○					10	00	○			
/			○	○					10	20		○		
/			○	○					10	30	○			
/			○	○					10	50		○		
/			○	○					18	20		○		
/			○	○					18	30	○			
/			○	○					18	50		○		

(注)

1. 繰り返しプログラムを設定する時は、前頁のように、ON設定データ④④、OFF設定データ⑤⑤のように必ず組合わせて設定してください。

2.

OUT	8	9
-----	---	---

 でサイクル時間を“0”にセットした後に

OUT	8	8
-----	---	---

 を使って繰り返しプログラムを設定しますと誤動作しますので絶対にサイクル時間を“0”にセットしないでください。誤ってこのような操作をした時は、電源を切って再び入れ直してください。

3. 前頁例で④設定の時間18時30分は、18時30分～18時59分にしても構いませんが、18時01分～18時29分に設定すると、18時00分までしかメモリに入りません。つまりサイクル時間内であれば（本例では1分～29分）を超えない範囲で問題ありません。ただし、2日にわたっては設定できません。

4. 最後のサイクル時間(T_E)は下記の範囲内です。
最初のサイクル時間 < T_E ≤ 23時59分

(2) 出力毎にサイクル時間が異なる場合の繰り返しプログラム設定

・

OUT	8	9
-----	---	---

 と

OUT	8	8
-----	---	---

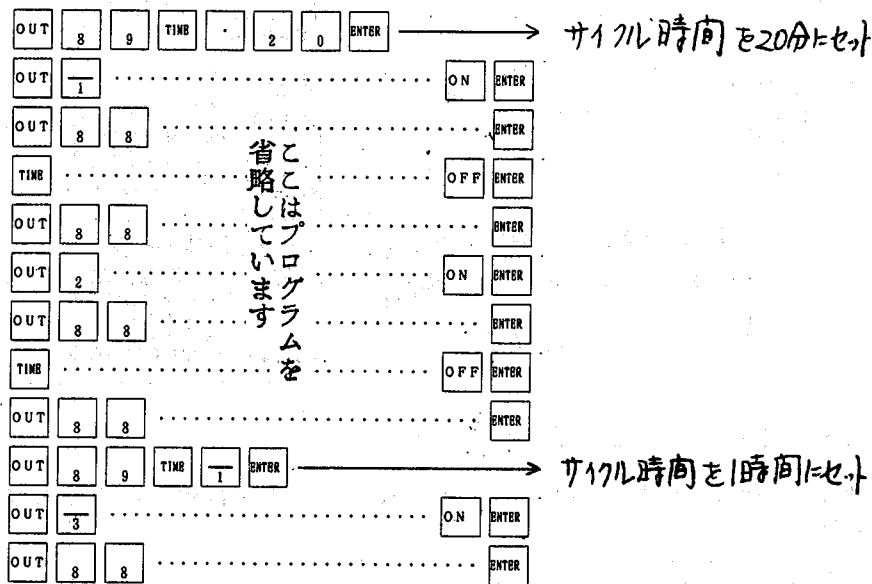
 の特別ファンクションを組合わせて使用すれば、

出力毎に異なるサイクル時間の繰り返しプログラムが簡単に設定できます。

(例)

出力1、2が同じサイクル時間(20分)
出力3、4が同じサイクル時間(1時間)

〈操作〉



以上同様に繰り返しプログラムの設定をします。
 サイクル時間の設定を変更しない限り以下の繰り返しプログラムは1時間サイクルで書き込まれます。

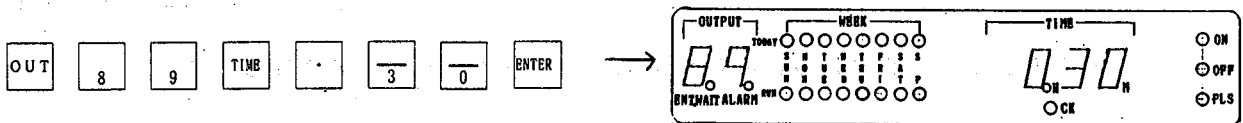
(3) 繰り返しプログラムの消去

・前記(1)、(2)に従って設定した繰り返しプログラムを容易に消去できます。

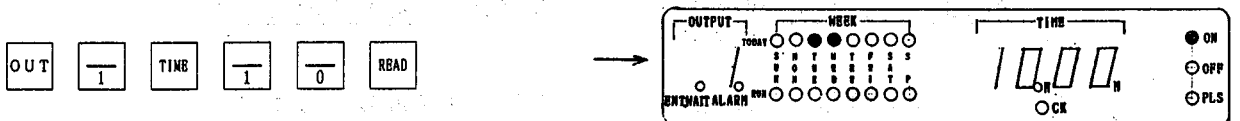
〈操作〉

(1)のプログラム設定(書き込み)例によって設定されたプログラムを消去します。

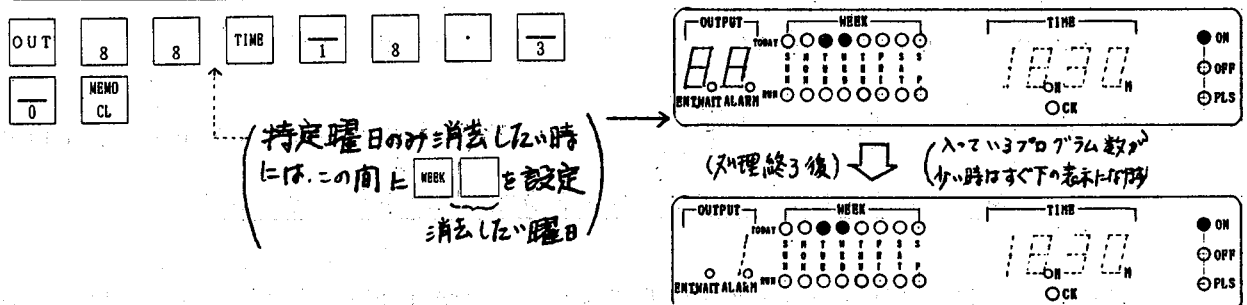
・まずサイクル時間をセット(または確認)します。



・次に最初のサイクルのON設定データを読み出します。



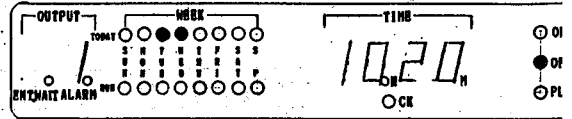
・続いて最後のサイクルのON設定データをメモリクリア操作します。



◆ 以上でON設定データは全て消去完了。

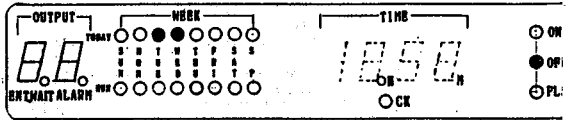
・最初のサイクルのOFF設定データを読み出します。

TIME 1 0 . 2 0 READ



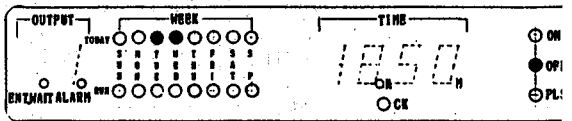
・最後のサイクルのOFF設定データをメモリクリア操作します。

OUT 8 8 TIME 1 8 . 5
MEMO CL



(特定曜日のみ消去したい時
にはこの箇所に WEEK [] を設定
後に曜日)

(処理終了後)



◆以上でOFF設定データは全て消去完了。

★自動消去中、サイクル時間と異っているデータが入っている場合は、消去した最終のデータを点滅表示します。

(4) 繰り返しプログラムの一部消去

・(3)の繰り返しプログラムの消去の手順により繰り返しプログラムの一部消去できます。

(操作)

(1)のプログラム設定(書込み)例によって設定されたプログラムの内12時00分から、14時20分の間を消去します。

・サイクル時間をセット(または確認)します。

OUT 8 9 TIME . 3 0 ENTER

→ 30分をセット

・消去したい時間帯の最初のON設定データを読み出します。

OUT 1 TIME 1 2 READ

→ 出力1 最初のON設定データ(12時)

・消去したい時間帯の最後のON設定データをメモリクリア操作します。

OUT 8 8 TIME 1 4 MEMO CL

→ 最後のON設定データ(14時)

◆以上で消去したい時間帯のOFF設定データを全て消去完了

・次に消去したい時間帯の最初のOFF設定データを読み出します。

TIME 1 2 . 2 0 READ

→ 最初のOFF設定データ(12時20分)

・消去したい時間帯の最後のOFF設定データを読み出します。

OUT 8 8 TIME 1 4 . 2 0 MEMO CL

→ 最後のOFF設定データ(14時20分)

◆以上で消去したい時間帯のOFF設定データを全て消去完了

☆消去した時間帯のみ別のサイクル時間で運転したい時は OUT 8 9 を使って別のサ

イクル時間を設定した後、(1)の繰り返しプログラム(書込み)手順に従って設定すれば容易にプログラムできます。

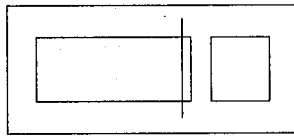
バッテリー表示、交換

バッテリー電圧の目安となるメーターが前面に装備されていますので、バッテリーの異常を電圧で確認できます。

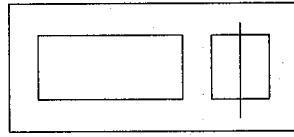
バッテリーの交換は2年間でおこなって頂くことを原則としていますが、1年以内に何らかのバッテリー異常が発生しますと規定の電圧が出ませんのでその際には直ちに交換してください。

○ バッテリメーターの電圧の目安

—赤 —青



↑
約 3 V
(異常)



↑ 正常
約 4.2 V (満充電)

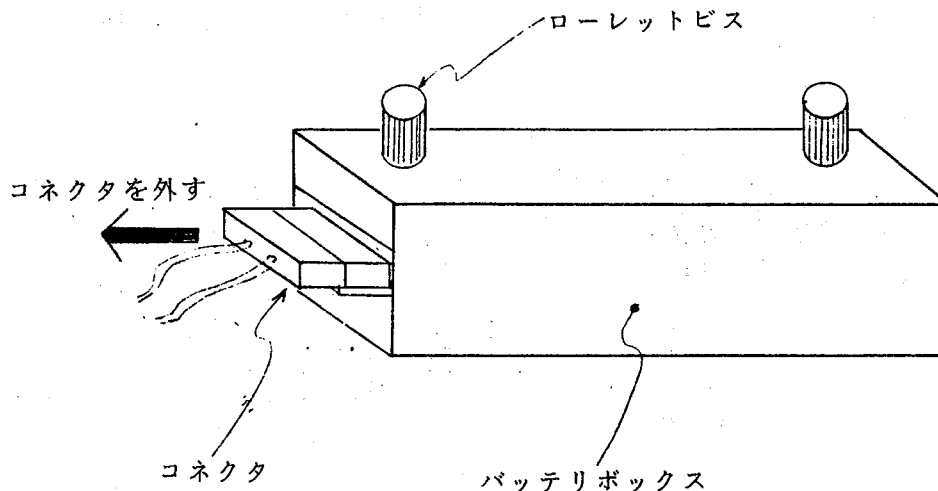
- ・ BATTERY1、2 共、3N-900C (三洋電機製) を使用していますので、定格電圧は $3 \times 1.2 \text{ V} = 3.6 \text{ V}$ ですが、満充電の状態になりますと $3 \times \text{約} 1.4 \text{ V} = \text{約} 4.2 \text{ V}$ になります。
- ・ バッテリーが停電等で放電して 3 V 以下になりましても電源を入れて充電回路が働きますと、バッテリーのメーターはただちに 3.6 V 近くを表示しますが、これは、充電がすぐ完了したことではありませんのでご注意ください。満充電 (100% 充電) になるまでは、約 60 時間ぐらいが必要です。

・ バッテリーボックスの交換

BATTERY 1 はメモリの内容を保持するために必ず電源を入れたまま交換してください。

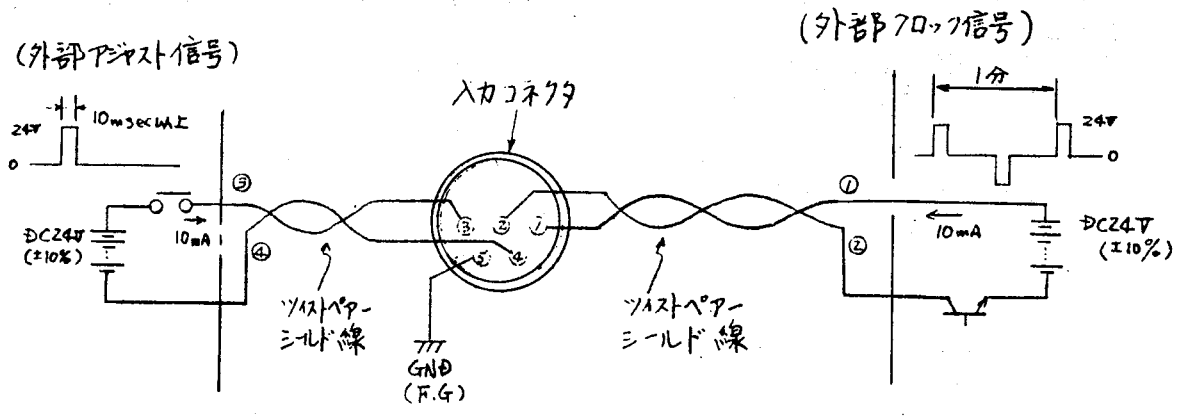
・ 交換手順

1. 下図のコネクタを必ず先に外します。
2. 下図のローレットビス (2 本) を外して、バッテリーボックスごと交換します。
(バッテリーボックス内の電池だけを交換はできません。)



- バッテリーボックス (WEG-B1) は 2 個 (メモリ用・タイマ用) 装備されています。電池寿命は、4~6 年程度維持できる場合もありますが、使用環境により異なりますので 通常 2 年毎に交換してください。

入力コネクタと配線



- 入力コネクタナンバー……
- ① + } CLOCK (外部クロック信号)
 - ② - }
 - ③ + } CONT. ADJ (外部アジャスト信号)
 - ④ - }
 - ⑤ GND (F.G)

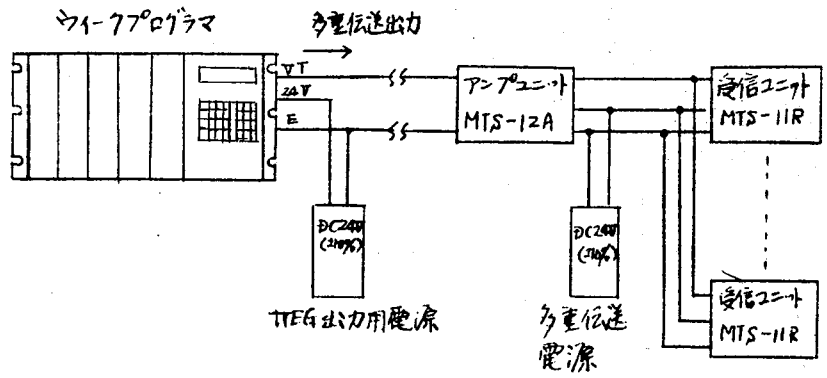
配線上の注意事項

配線にはツイストペア線（シールド線）を使用して、最短距離にて配線をおこない、必ず動力線との混合は避けてください。

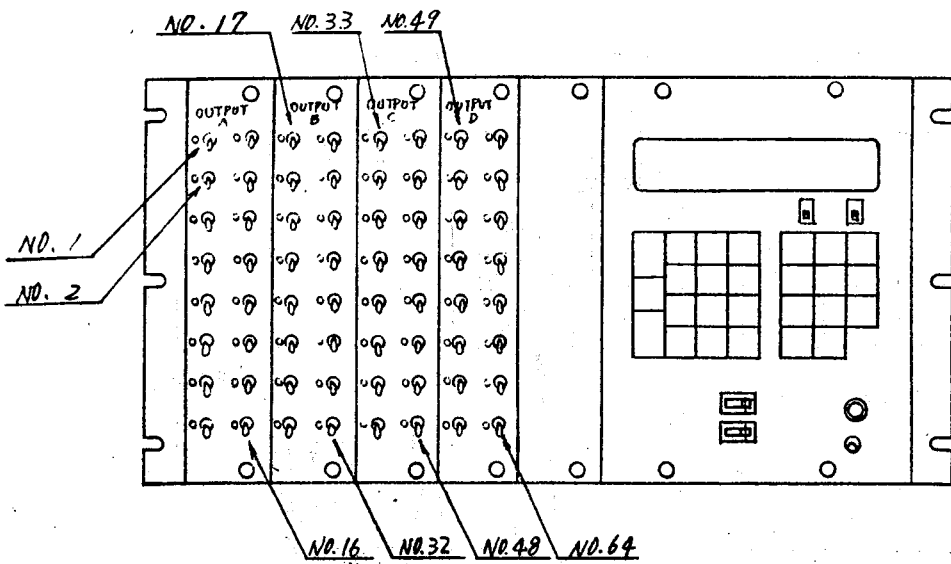
多重伝送出力 …… (準標準)

WEG-6401形ウィークプログラマは、多重伝送出力を内蔵できますので配線工数が大幅に削減できます。(ただし、準標準ですので別途打ち合わせが必要です)

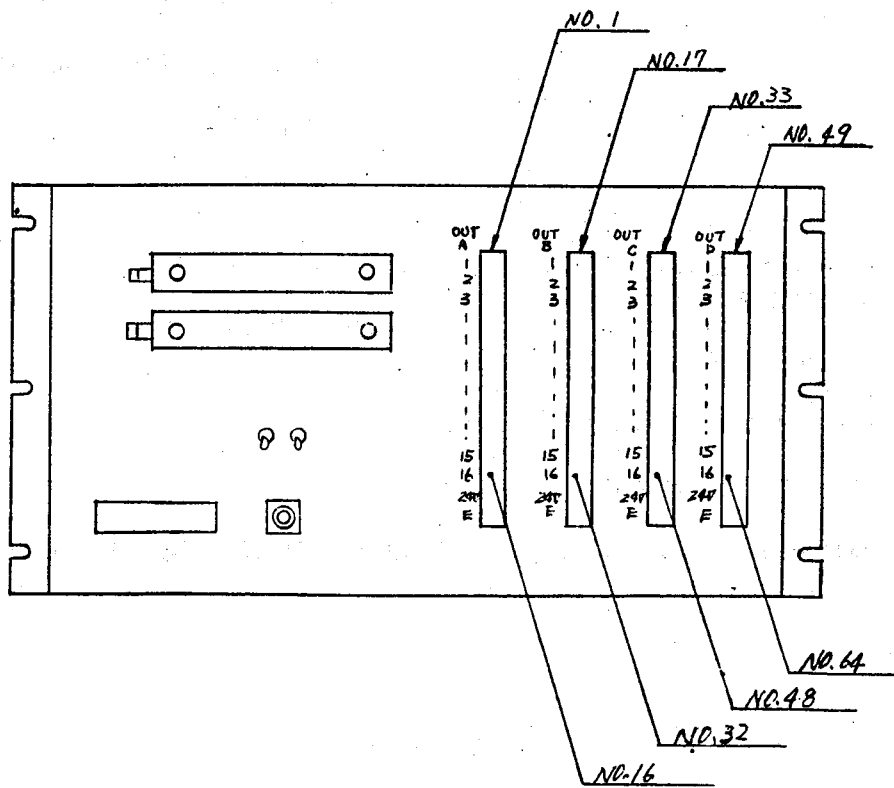
(例) ★60の出力を2～3本の配線でできます。



出力スイッチと出力端子台



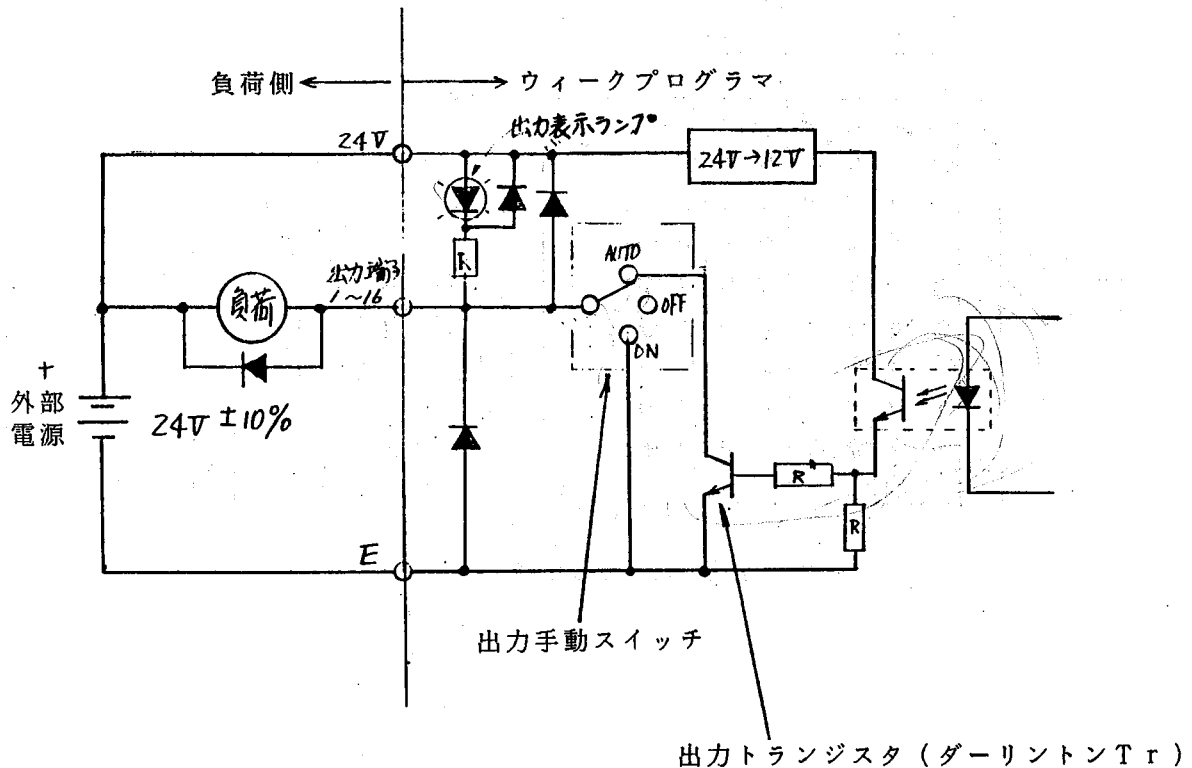
(正面)



(裏面)

出力回路と出力配線

・外部にDC24V 電源をご用意ください。



出力トランジスタ (ダーリントン Tr)

ON 時……残電圧 max 1V

OFF ……オープン

外部電源

- ・電圧 DC24V ±10%
- ・電流 (負荷電流 × 出力数) + (10mA × 負荷数) + α (余裕)
(リレの励磁電流)

→ WEGの出力表示ランプなど

(例) 16出力の場合

リレ電流

$$(40\text{mA} \times 16) + (10\text{mA} \times 16) + \alpha = 1\text{A}$$

配線上の注意事項

負荷側の配線は動力ラインとの混合を避けて、出来るだけ近い距離 (約 5 m 以内) でおこなってください。

取扱注意事項

〈操作〉

- ・内部処理中にキー操作をしますとエラーブザーが 0.5 秒間鳴りますが、これは操作エラーでなくキー操作の禁止期間 (約 2 秒) になっていますので、この場合は再び同様のキー操作をしてください。

内部処理期間

- ・分処理の直後
- ・アジャスト操作の直後

〈配線〉

- ・出力端子台からリレー盤への配線は、動力線との混合をしないで、出来るだけ短い距離 (約 5 m 以内) でおこなってください。

- 外部クロック入力、外部アジャスト入力の配線には必ずシールド線をご使用ください。
(またはツイストペア線使用)
- また、電源ラインとの同一ダクト配線は必ず避けてください。
- 電源のAC100Vは電灯線、計器電源のようにノイズの少ない電源を使用してください。

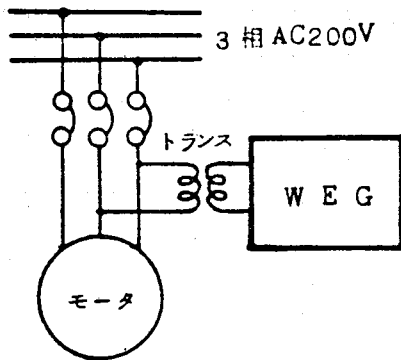
(カード交換)

- 出力カードの交換は必ず電源を切っておこなってください。
電源を入れたままでカードを抜き差しすると、メモリの内容が変わることがありますので、ご注意ください。
- 出力カード間どうしの交換は、カード上のディップスイッチ(2個共)を同様に切り換えてください。

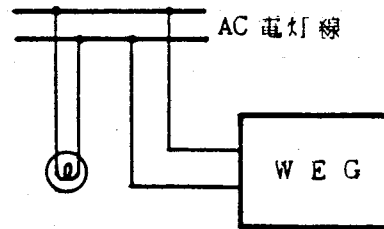
W E G 形ウィークプログラマ A C 電源注意事項

- W E G 形ウィークプログラマの A C 電源には、モータラインと共用しない電源(電灯線)をご使用ください。

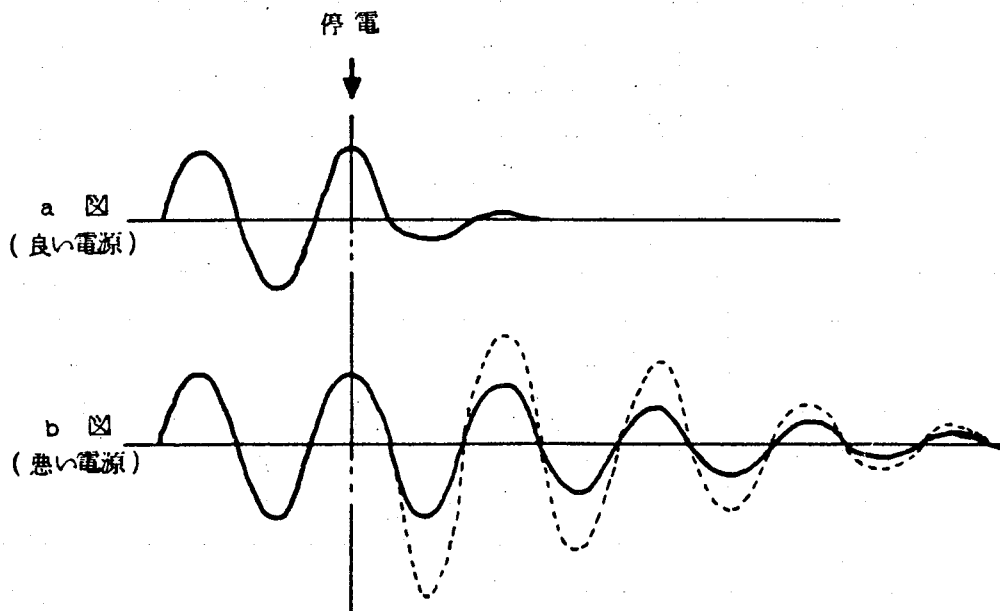
(悪い接続例)



(良い接続例)



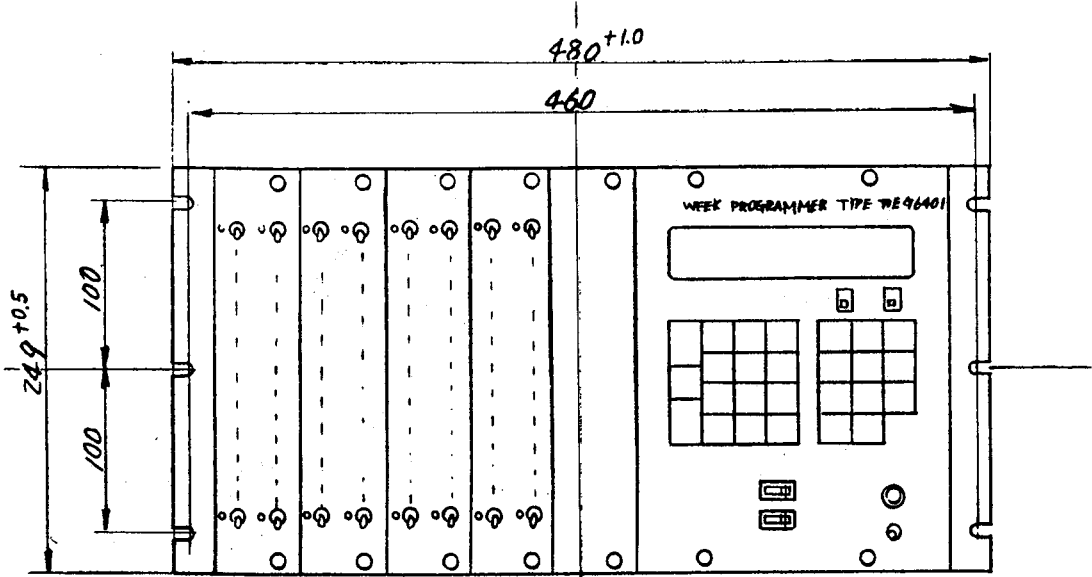
- W E G 形ウィークプログラマの A C 電源には、停電の際 a 図のような切れ方をする電源をご使用ください。
コンデンサ、モータ等が並列に接続されていて、b 図のような切れ方をする電源はご使用にならないでください。



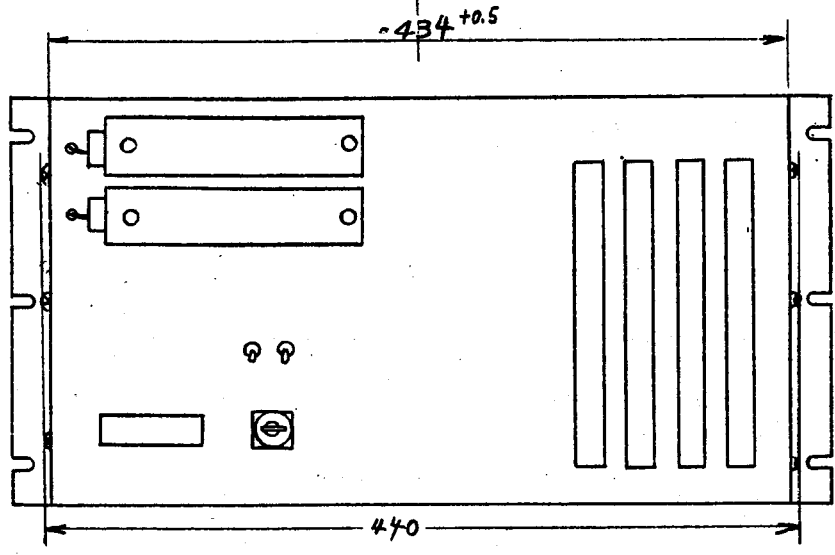
プログラム名称			日時							担当					
出力名称	OUTPUT NO.	WEEK							TIME		出力状態			備考	
		SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	S	P	H	M	ON		OFF

外形寸法図

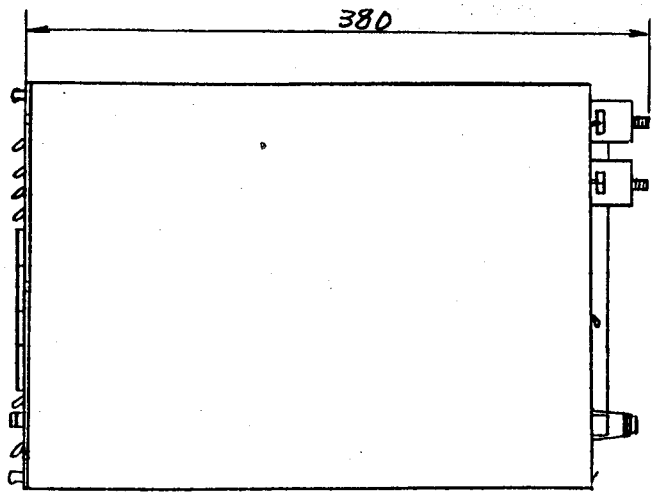
(正面)



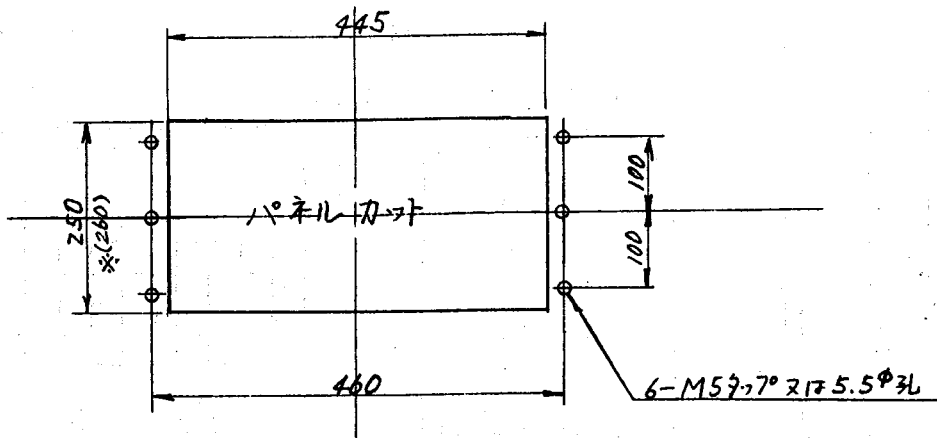
(裏面)



(側面)

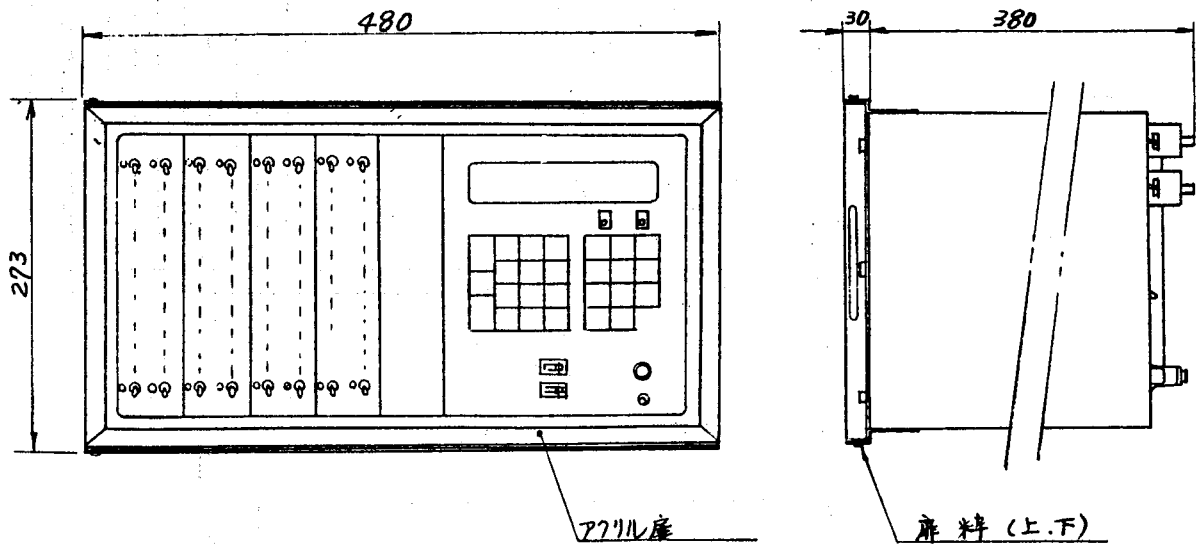


取付穴寸法図



※(260)の寸法はアクリル扉（オプションWBG-C1）を取りつけた時のパネルカットです。

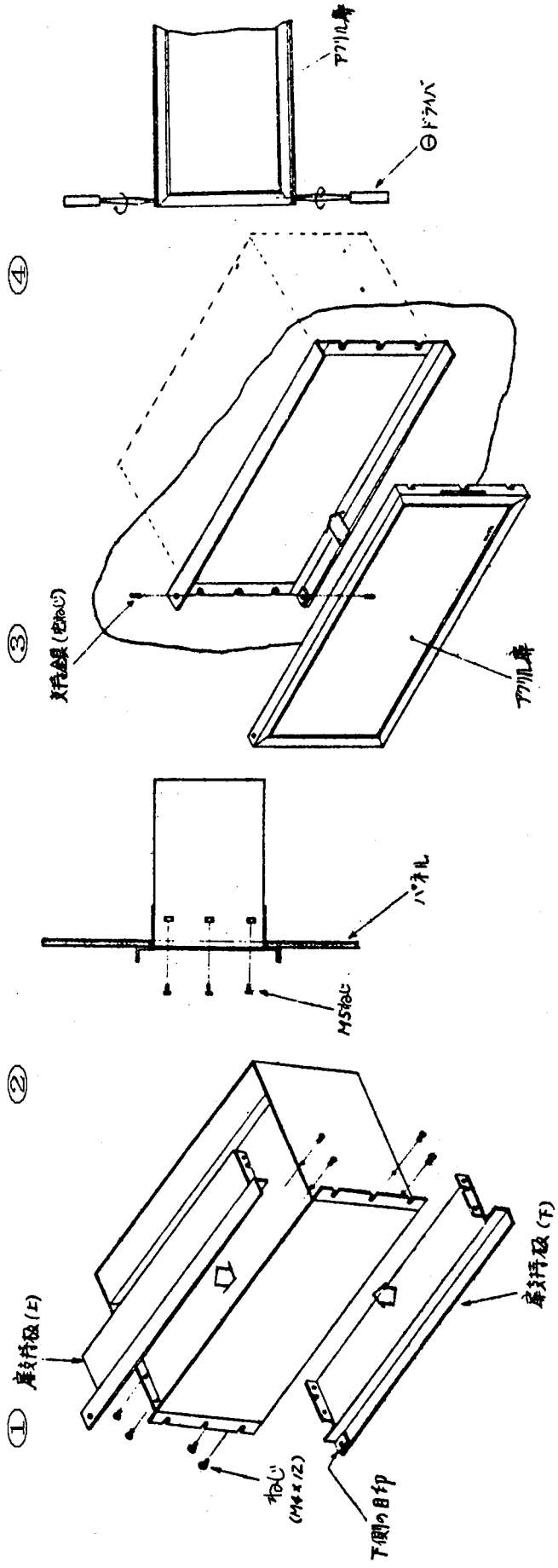
（アクリル扉を付けた時の外形図）



- ・アクリル扉は標準の本体に扉枠を取り付けて、アクリル扉を固定します。オプションのアクリル扉には、扉枠も付属しています。

1. アクリル扉
2. 扉支持板(上)、(下)
3. ねじM4×12...8個
4. 支持金具(虫ネジ)...2個

(オプション)
アクリル扉 (TYPE WEG-C1) 取付手順



① 扉支持板の取付け

ウィークプログラマ (WEG-6401) をパネルに取付ける前にまず、扉支持板(上)、(下)を取付けてください。この時(上)、(下)を間違えない様、下側の目印に注意してください。取付ねじM4×12で8か所を固定。

② パネルへの組込み

扉支持板を取付け後、パネルに組み込んでください。止めねじは、M5ねじにてナット止めてください。パネルにタツプを立ててください。

③ アクリル扉の取付け

パネルに組み込み後、アクリル扉を付属品の支持金具(虫ねじ)にて、固定してください。

④ 支持金具の止メ

支持金具の固定には、①ドライバを使用して扉支持板より内側に入り込まない所まで廻してください。